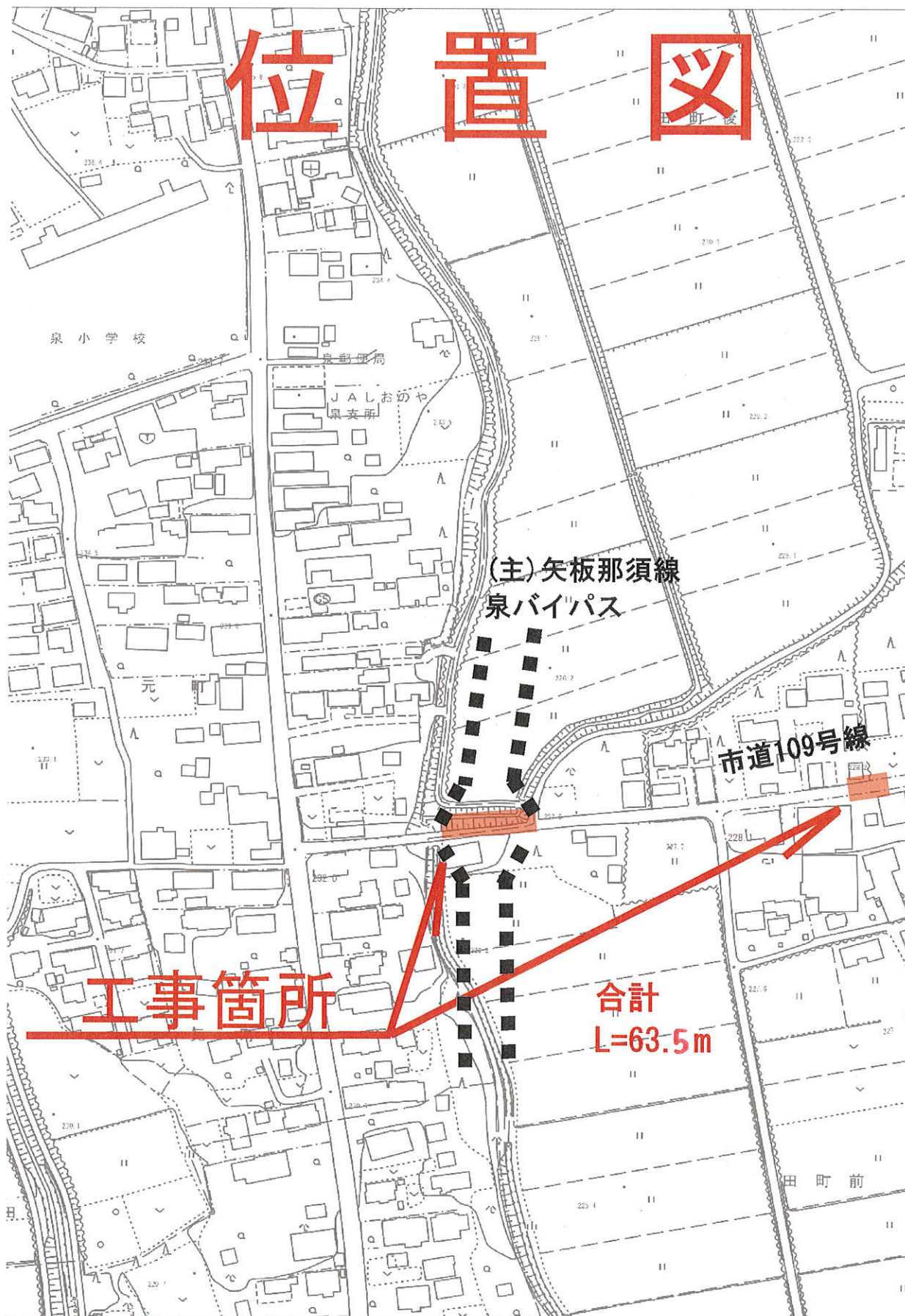


令和7年度	設計 の 理由	水道施設整備事業に伴い、本工事を要す。	工期	R8.2.23 限り	施工 方法	条件付 一般競争 入札
市単・ 負担金						
実施設計書 配水管布設工事 第5号 矢板市 東泉 地内 設計概要						
施工延長 L=63.5m						
・配水管布設工 DIP(GX) φ150 L=63.5m						
・仕切弁設置工 φ150 3か所						
・給水管分岐替工 1式						
・土工、路面復旧工 1式						
設計者						
設計書用紙(甲)						
栃木県矢板市						
請負工事価格 金						
内 訳						
工事価格 金						
消費税相当額 金						
予定額		増減額	予算額 に対する		理由	
査定額			査定額			
実施 前回	設計額		増減額		前設計額	
	請負額				請負額	
	請負率				に対する	
今回 変更	設計額				増減額	
	請負額					

位置図



施 工 条 件 書

工事名：配水管布設工事第5号（東泉地内）

●工程関係

- ・工事着手前に施工計画書を提出し、監督員と協議すること。
- ・工事に何らかの支障があり工程が遅れる場合は、監督員と協議すること。
- ・近接工事として、（仮称）道路改良舗装工事（（主）矢板那須線泉BP）、道路改良工事（市道109号線）、東電・NTT等の電柱移設工事が予定されている為、請負業者等間で工程調整を行い、監督員に報告すること。

●用地関係

- ・施工上、個人の土地に入らなければならない場合、土地所有者の許可を得ること。残材や砂利等はトラブルの原因になるため、取扱いに対しては特に注意すること。
- ・境界杭・測量杭等は工事車両等で動かさぬよう確実に養生すること。また施工上支障となる場合は控えをとり、確実に復旧すること。

●公害対策

- ・作業中の騒音、振動については、極力配慮すること。
- ・原則として、日曜、祭日の作業は避けること。ただし、工期厳守を優先するため、必要に応じて工事の推進を図ること。
- ・土砂の運搬時、路上に落ちた土砂等は必ず清掃を行うこと。（特に搬入、搬出先の路上）
- ・施工方法により、付近の家屋・工作物等に被害を及ぼす恐れがある箇所は、着工前に工損調査等を行うこと。

●安全対策関係

- ・歩行者、自転車、農耕機が工事区域内に侵入し、事故が発生しないよう十分注意すること。
- ・工事車両の出入口及び建設機械の旋回には、必ず誘導員を配置すること。
- ・交通整理員は、当初設計時では延べ10人（5日×2人）を見込んでいるが、警察協議等により施工条件の変更が生じた場合には、監督員と事前に協議の上、配置人員等は変更できるものとする。
- ・施工の安全確保の徹底を図るため、現場において作業員全員による定期的な教育、訓練等を実施すること。（労働災害防止）

また、月当たり半日以上の時間を割当てて、状況写真を提出すること。

●工事用道路関係

- ・片側通行、全面通行止め等を行い施工する場合、所轄の警察署及び矢板消防署、郵便局等と協議の上、必要に応じて書類を提出すること。
- ・迂回路実施の場合、案内看板等を設置し、安全確保のために常に巡回すること。

●仮設備関係

- ・工事表示板等保安施設については所定の位置に設置し、夜間においても遠方から確認できるようにすること。また、常に巡回を行い、安全確認を行うこと。

●残土・産業廃棄物関係

- ・残土(土砂)がある場合、捨土処理報告書(写真添付)を提出すること。
- ・産業廃棄物(アスファルト塊、コンクリート塊)がある場合、径30cm未満に小割して、中間処理施設に持ち込み、受入書類等を添付して報告(写真添付)すること。
- ・ダンプトラック過積載による違法運行の防止対策実施要領を厳守すること。
- ・再生資源利用(促進)計画書及び同実施書の提出
 工事を実施するにあたり、再生資源利用(促進)計画書を施工計画書に添付すること。
 計画書の実施状況については、再生資源利用(促進)実施書を作成して、工事完了後速やかに実施書を発注者に提出すること。
- ・上記近接工事等で本施工発生土を流用する旨の協議が整った際は、請負者間において日程調整の上、発生土を引渡し、変更設計時の対象とする。

●準備工

- ・監督員と協議し、必要に応じ既設配水管等埋設物の位置・土被りの確認を実施すること。
 なお当初設計時において、2箇所程度の試掘を必須とする。

●工事支障物関係

- ・埋設物等の支障物件を確認した場合、監督員に連絡を取り指示を受けること。
 また埋設物等については、工事着手前に図面等により確認し、施工時には管理者の立会いを依頼すること。また、監督員と協議の上、必要に応じ試掘を行うこと。
- ・上下水道事務所 水道課 0287-44-1511
- ・ " 下水道課 0287-43-6214
- ・NTT東日本 0120-116-000
- ・東京電力カスタマーセンター 0120-995-112
- ・矢板警察署 0287-43-0110
- ・矢板消防署 0287-44-2511

●その他

- ・ 栃木県土木工事共通仕様書及び土木工事必携を準用する。
- ・ 特記仕様書を遵守すること。
- ・ 任意の基準点等を設置した場合は、監督員の確認を得て、起工測量時の報告にも明記すること。
- ・ 建設業退職金共済証紙購入報告書を提出すること。
- ・ 着手前に設計図書と現場との照査を行い、監督員に報告すること。
- ・ 施工時に住民等の交通に支障を極力減らすよう、看板や回覧等で周知し、苦情の回避に努めること。

(別紙 5)

捨 土 処 理 報 告 書

令和 年 月 日

水道事業管理者

矢板市長

様

住 所

商号又は名称

代 表 者 氏 名

捨土処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名

2. 工 事 場 所

3. 処 分 場 所

4. 処分地所有者名
又は処理施設社名

5. 処 理 量

6. 付 属 書 類

写真（処理前・処理後）、位置図

(別紙 6)

廃材処理報告書

令和 年 月 日

水道事業管理者

矢板市長

様

住 所

商号又は名称

代表者氏名

廃材処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名

2. 工 事 場 所

3. 処 分 場 所

4. 処分地所有者名
又は処理施設社名

5. 処 理 量

6. 付 属 書 類

写真（中間処理施設看板、廃材幅管理）、位置図
中間処理施設入荷証明

特 記 仕 様 書（建設副産物）

1 共通事項

- (1) 建設副産物実態調査要領に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて各1部提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画書の実施状況について、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、各2部提出するとともに、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。
- (2) 建設副産物の処分に先立ち、別紙「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (3) 建設廃棄物の処分にあって、排出事業者（元請業者）は処理業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結し、建設副産物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収拾運搬業務を収拾運搬業者に委託する場合は、別に、収拾運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結すること。
- (4) 建設副産物処理完了後速やかに別紙「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料（受入れ伝票、写真、位置図、経路等）を提示し確認を受けること。また、竣工図書に添付すること。
- (5) 建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」のA票、B票、D票を監督職員に提示し、確認を受けるとともにE票の写しを竣工図書に添付すること。

2 建設発生土

(1) 指定（A）の場合

本工事により発生する建設発生土のうち、下記に示す建設発生土については、下記指定地に搬出すること。

ア 搬出先（相手先工事名、場所等）：

イ 土質及び処分量

m3

ウ 搬出時期

適宜

(2) 指定（B）の場合

建設発生土（ 55 m3）は準指定処理とし、請負者裁量で処理地を確保するものとし、実情に応じて運搬距離を変更するものとする。

※ただし、掘削土を土質・近接現場状況により流用する可能性があるため、監督員と協議し建設発生土量・運搬距離を変更するものとする。

(3) 自由処理の場合

建設発生土 (m3) は自由処分とし、請負者裁量で処理地を確保するものとするが運搬距離の変更はしない。

(4) 建設発生土を処理する場合には、処理先の見やすい場所に必ず標識を掲げること。

3 建設廃棄物

本工事により発生する

ア、 アスコン塊 (0.9 m3) は、 矢板市 針生 地内、
運搬距離 6.8km の施設に運搬し、処理するものとする。

イ、 コンクリート塊 (m3) は、 矢板市 針生 地内、
運搬距離 6.8km の施設に運搬し、処理するものとする。

ウ、 建設発生木材 (m3) は、 地内、
運搬距離 km の施設に運搬し、処理するものとする。

エ、 建設汚泥 (0.1 m3) は、 那須塩原市 北赤田 地内、
運搬距離 13.6km の施設に運搬し、処理するものとする。

オ、 建設発生廃プラ (m3) は、 地内、
運搬距離 km の施設に運搬し、処理するものとする。

カ、 石塊 (m3) は、 地内、
運搬距離 km の施設に運搬するものとする。

電子納品に関する特記仕様書

(建設工事)

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は、当該工事（以下「本工事」という。）の最終成果品を電子納品の対象とし、そのために必要な事項について定めるものである。

(電子納品)

第2条 電子納品とは、本工事の最終成果を電子データで納品することをいう。

ここでいう電子データとは、「電子納品運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

なお、書面における署名又は押印の取扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。

(成果品の提出)

第3条 成果品の提出の際には、国土交通省チェックシステム及びウィルス対策ソフトを利用してチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、電子媒体に格納することとする。提出物は、電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副各1部、計2部とする。

なお、電子納品の対象外とした書類は、従来通り紙で納品する。

「ガイドライン」で特に記載のない項目については、原則として成果を電子化して提出する義務はないが、監督職員と協議の上、電子化を決定する。

また、紙による書類の提出は必要最小限とする。

(成果品の保管)

第4条 請負者は、発注者に提出する電子媒体に格納したデータを、バックアップとして請負者のハードディスク等に保管し、その保管年数は10年間を原則とする。

(成果品の確認)

第5条 請負者は、電子媒体（CD-R又はDVD-R）提出時において、電子データが「ガイドライン」に基づき作成されていることを、監督職員の立会いのもと確認する。

なお、電子データの検査方法については、別途協議のうえ決定する。

(その他)

第6条 請負者は、本工事の実施にあたり内容に疑義が生じた場合には、速やかに監督職員と協議し、その指示を受けなければならない。

特 記 仕 様 書

1. 本工事の主任技術者は、次に掲げる資格を有する者を当てなければならない。

(1) 建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち検定種目を二級の建設機械施工管理又は、二級の土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。

(2) 技術士法（昭和32年法律第124号）による本試験のうち技術部門を建設部門、農業部門（選択科目「農業土木」とするものに限る。）とするものに合格した者。

なお、主任技術者等の通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの（写しでもよい）を添付すること。

特 記 仕 様 書

請負者は、工事の施工にあたっては次の事項を厳守するものとする。

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし杵装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車両、さし杵車両、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行う場合、又はさし杵装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等に当たって、下請け事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6. 不法パーソナル無線・不法アマチュア無線等の不法・違法無線局を搭載しているトラック、ダンプカー等の工事関係車両を使用しないこと。また、下請け業者にも十分指導するものとする。
7. 以上のことにつき、下請け業者にも十分指導すること。

特記仕様書 配水管布設等施工管理

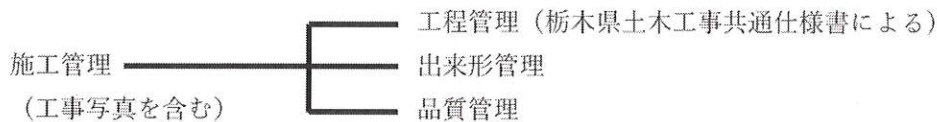
1 目的

この管理基準は、矢板市水道事業が発注する水道工事（配水管布設工事）の施工について、契約図書に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

ただし、この基準に定めのない舗装工事、土木工事等における施工管理は「栃木県土木工事共通仕様書」により、またこの基準に定めのない配水管布設工事における施工管理は「水道工事標準仕様書（（公社）日本水道協会）」により、給水管布設工事における施工管理は「矢板市給水装置設計施工指針」によるものとする。

2 構成

施工管理の構成は、下記のとおりである。



3 管理の実施

- (1) 請負者は、工事施工前に、施工管理計画及び施工管理担当者を定め、当該計画書を提出する。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を把握し、適切な施工管理を行う。
- (3) 請負者は、測定（試験）等を工事の施工と並行して、管理の目的が達せられるよう速やかに実施する。
- (4) 請負者は、測定（試験）等の結果をその都度逐次管理図表等に記録し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対し速やかに提示するとともに、工事完成時に提出する。
- (5) 請負者は、工事写真を施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況等を写真管理基準により撮影し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対し速やかに提示するとともに、工事完成時に提出しなければならない。

4 規格値

請負者は、出来形管理基準及び品質管理基準により測定した各実測（試験・検査・計測）値は、規格値を満足しなければならない。

以下に「水道工事標準仕様書（日本水道協会）」及び「栃木県土木工事共通仕様書」の一部を抜粋する。設計図書に謳われた管種・工法等必要に応じ、管理項目を追加し施工計画書に記載すること。

●水道工事標準仕様書（日本水道協会）2010年版

出来形管理基準例

				単位：mm	
工 種	測 定 項 目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
管の据付	占用位置 W	±30	・路線、口径、管種ごとに、施工延長40mにつき1箇所		
	土 被 り DP	±30			
管の接合	鑄鉄管 継手	接合要領書による	・口径、管種毎に全接合箇所測定 ・各種継手点検表に記入		
	ビニル管 継手				
	ポリ管 継手				
弁栓類・鉄蓋の据付	路面との段差	段差が無いこと	・全箇所測定		
弁室その他の構造物	弁室（現場打）		・全箇所測定		
	壁 厚 t	-20			
	床版厚 t ₁	-20			
	底版厚 t ₂	-20			
	内空幅 W ₁ , W ₂	-30			
異形管防護工	内空高 h	±30	・全箇所測定		
	幅				
	高 さ	-30			
	辺 長				
推進工	体 積	±であること	・免掘坑、到達坑で測定		
	基 準 高	±50			
	中心線の偏位	左右±50			
	管 底 高	±50			
シールド工 （一次覆工）	管 底 高	±50	・20m毎に測定 なお、推進延長が20m以下 の場合は、任意で2箇所測定。 ・20m毎に測定 なお、推進延長が20m以下 の場合は、両端で測定 ・51mm 毎に測定		
	中心線の偏位	左右±100			

上記規格値は、参考として調査事業体の代表値を記載した。

なお、上記以外の出来形管理基準については、国土交通省「土木工事施工管理基準及び規格値」を準拠する。

品質管理基準例

別途、矢板市水道工事水圧試験標準仕様書にて規格値を定める。

(一社)日本ダクトイル鉄管協会技術資料により締付けトルクを決定すること。

工種	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要
水圧試験	管路水圧試験	管内に充水し所定の水圧を負荷し、一定時間保持してこの間の圧力変化を測定	管路に漏水等異常が無く、急激な圧力降下が生じないこと	管路工事完了時	4.1.19 参照 原則として監督職員の立会い
	継手部水圧試験	試験水圧 0.5MPa 程度で 5 分保持してこの間の圧力変化を測定	0.4MPa 以上保持	φ900 mm 程度以上の管 検査時において監督職員がこの試験を指示した場合実施	4.1.19 参照
通水準備	遊離残留塩素の測定等	4.1.32 通水準備工による	上流の水道水と遊離残留塩素が同程度	使用開始前	4.1.32 参照 必要に応じて中和剤を添加
管の接合	ダクトイル鋳鉄管継手部接合検査	目視 ノギス等による計測	・各継手部所定の寸法を満たすこと ・ボルトの締め付けトルクを満たすこと	すべての継手接合箇所について実施	4.2.3～4.2.10 参照 チェックシートを使用
管の溶接	放射線透過試験	JIS Z 3104 JIS Z 3050 JIS Z 3106	・きずの分類において 3 類以上 ・内面へこみは、その部分の透過写真濃度がこれに接する母材部分の透過写真濃度を超えないこと ・溶接は、いかなる方向に測った寸法も 1 個につき 6 mm 又は管の肉厚のいずれか小さい方を超えず、試験部の有効長さ当たり最大寸法の合計長さ 12 mm 以下とする。	検査箇所数は溶接箇所数の 10% とし、撮影 1 口につき 900 mm 以下は 1 箇所、1000 mm 以上は 2 箇所	4.3.7 参照 WSP008 参照 監督職員の指示で検査箇所増可能
管の溶接	超音波探傷試験	JIS Z 3060	きずの分類において 3 類以上	検査箇所数は溶接箇所数の 10% とし、撮影 1 口につき 2 箇所 検査長は 30 cm	4.3.7 参照 監督職員の指示で検査箇所増可能
内面塗装（無溶剤形エポキシ樹脂塗料）	外観検査	JWWA K 157	異物の混入、著しいむら、塗りもれなどがなく、均一な塗膜であること	すべての塗装箇所	4.3.4 及び 4.3.7 参照
	塗膜厚測定	JWWA K 157	0.4 mm 以上（プライマーを含む）	監督職員の指示した箇所	4.3.4 参照
	ピンホール	JWWA K 157	ピンホール探知器を用いて検査を行い、火花が発生するような欠陥がないこと	すべての塗装箇所	4.3.4 及び 4.3.7 参照
	付着性試験	JWWA K 157	へらを用いてはつり、容易にはがれないこと	監督職員の指示した箇所	4.3.4 及び 4.3.7 参照

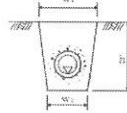
工種	試験項目	試験方法	規 格 値	試験基準	摘 要
外面塗装 (タールエポキシ樹脂塗料)	外観検査	JWWA K 115	異物の混入、著しいむら、塗りもれなどがなく、均一な塗膜であること	すべての被覆箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
	ピンホール	JWWA K 115	ピンホール探知器を用いて検査を行い、火花が発生するような欠陥がないこと	すべての被覆箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
	塗膜厚測定	JWWA K 115	0.3 mm以上	すべての被覆箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
	付着性試験	JWWA K 115	へらを用いてはつり、容易にはがれないこと	監督職員の指示した箇所	4.3.5 及び 4.3.7 参照
外面塗装 (ジョイントコート)	外観検査	JWWA K 153	・焼損がないこと ・有害な欠陥となるめくれがないこと ・ジョイントコート両端から 50 mm以内に膨れがないこと ・工機塗装部との重ね長さは 50 mm以上 ・耐衝撃シートについては、有害なきずがなく、テープ又は固定バンドで確実に固定されていること	すべての被覆箇所	4.3.6 及び 4.3.7 参照
	ピンホール	JWWA K 153	ピンホール探知器を用いて検査を行い、火花が発生するような欠陥がないこと	すべての被覆箇所	4.3.6 及び 4.3.7 参照
	塗膜厚測定	JWWA K 153	加熱収縮後のジョイントコートの厚さは、1.5 mm以上	すべての被覆箇所	4.3.6 及び 4.3.7 参照

なお、上記以外の品質管理については、国土交通省「品質管理基準及び規格値」を準拠する。

●栃木県土木工事共通仕様書 平成 31(2019)年版、令和 4 年 4 月一部改訂

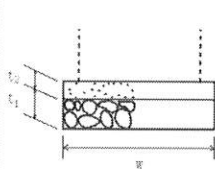
・管路土工、管布設

3	2	3	29	3	側溝工 (暗渠工)	基準高▽	±30
						幅 w_1, w_2	—50
						深 さ h	—30
						延 長 L	—200

施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1箇所。 延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工につき 2 箇所。 (なお、製品使用の場合の、製品寸法は、規格証明書等による。)		3-2-3-29
I 施工箇所		

・砂基礎

3	2	4	1	一般事項 (砂込砂利) (砕石基礎工) (砕くり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 w	設計値以上
					厚さ t_1, t_2	—30
					延 長 L	各構造物の 規格値による

施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		3-2-4-1
---	---	---------

・下層路盤工

3	2	6	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±10	±50	—	—
						厚 さ	—45	—45	—15	—15
						幅	—50	—50	—	—

基準高は延長 40m 毎に 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線 200m 毎に 1 箇所を掘り起こして測定。幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割に測定。ただし、幅は設計図書に示す測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。なお、厚さの管理を下がり管理で行う場合は掘り起こして測定しなくても良い。	工事現場の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 1,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 ($\bar{X}_{10}$) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-7
--	---	---------

・上層路盤工

3	2	6	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 総完成路盤工	厚 さ	—25	—30	—8	—10
						幅	—50	—50	—	—

幅は、延長 80m 毎に 1 箇所の割とし、厚さは各車線 200m 毎に 1 箇所を掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 80m 以下の間隔で測定することができる。なお、厚さの管理を下がり管理で行う場合は掘り起こして測定しなくても良い。	工事現場の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 1,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値 ($\bar{X}_{10}$) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-7
--	---	---------

・表層工

3	2	6	7	11	アスファルト舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3
土木工事共通通編	一般施工	一般舗装工				幅	-25	-25	-	-
						平坦性			3m75744-5 (σ)2.4mm以下 直線式 (足付き) (σ)1.75mm以下	

幅は、延長 80m毎に 1 箇所の割とし、 厚さは、1,000 mに 1 箇所の割でコア を採取して測定。ただし、幅は設計図 書の測点によらず延長 80m以下の間隔 で測定することができる。ただし、 3,000 m未満の場合は最低 3 個とす る。また、1,000 m未満で異常がなけ れば材料の納入伝票等での確認でも良 い。					工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を 描いた上での管理が可能な工事をい い、舗装施工面積が 10,000 m ² 以上あ るいは使用する基層および表層用混合 物の総使用量が、3,000 t 以上の場合 が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事 より規模は小さいものの、管理結果を 施工管理に反映できる規模の工事をい い、同一工種の施工が数日連続する場 合で、次のいずれかに該当するものを いう。 ①施工面積で 1,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の 総使用量が 500 t 以上 3,000 t 未満 厚さは個々の測定値が 10 個に 9 個 以上の割合で規格値を満足しなければ ならないとともに、10 個の測定値の平 均値 (X ₁₀) について満足しなければ ならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は通 用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版 等に損傷を与える恐れのある場合は、 他の方法によることが出来る。 1,000 m未満の舗装工事及び維持工 事においては、平坦性の項目を省略す ることが出来る。	3-2-6-7
---	--	--	--	--	---	---------

・区画線工

3	2	3	9	区画線工	厚 さ t (溶融式のみ)	設計値以上
土木工事共通通編	一般施工	3 共通 的工種			幅 w	設計値以上

各線種毎に、1 箇所テストピースによ り測定。		3-2-3-9
----------------------------	--	---------

矢板市水道工事水圧試験標準仕様書

この仕様書は、矢板市上下水道事務所水道課発注の水道工事における水圧試験について定めたものである。他の項目については、日本水道協会発行『水道工事標準仕様書』を準拠する。

- 1 受注者は配管終了後、継手の水密性を確認するため、管路の水圧試験を行わなければならない。
- 2 試験を行う場合は、監督員と事前に日時を協議し立会いのもと実施すること。
- 3 試験方法は管内充水方式とし、布設したダクタイル鋳鉄管、水道配水用ポリエチレン管及び水道用ポリエチレン二層管を 0.75Mpa で加圧し 1 時間後の水圧が 0.6Mpa 以上保持していれば合格とする。
- 4 管内への充水は一昼夜程度かけ、管内へ侵入した空気を十分に排気することが望ましいが、管径や配管形状、地理的な条件により変動するため、監督員と協議し決定すること。
- 5 試験値が合格値を下回った場合、管路や弁栓類を点検し充水作業後、再試験を行わなければならない。
- 6 試験器の取付け位置は、配管端部に取付けた管栓及び管栓帽又は消火栓とする。
- 7 試験器は自記録式又はデータログ式とする。自記録式ではチャート紙を使用し、データログ式ではチャート紙形式でデータを出力すること。なお、自記録式のチャート紙は 1 時間用又は 4 時間用を使用すること。
- 8 成果物はチャート紙と記録写真を提出することとし、記録写真のみは不可とする。
- 9 水道配水用ポリエチレン管の試験は EF 接合後 1 時間以上経過してから行うこと。
- 10 水道配水用ポリエチレン管の試験については、予備加圧（0.75Mpa で加圧し 10 分間放置）後に試験を行うことも可とする。
- 11 管径 900 mm 以上の鋳鉄管継手ではテストバンドを使用した水圧試験とし、試験方法は日本水道協会発行『水道工事標準仕様書【土木工事編】』に記載のとおりとする。

※試験器及び接続部材は受注者が用意すること。

※試験に使用する管栓や管栓帽は発注者が貸与するが、工事が重なり、受注者の求める日時に貸与できない場合がある。この時、受注者の都合で試験を実施する場合は、受注者の負担で部材を用意すること。

特 記 仕 様 書

1. ダクタイル鋳鉄管耐震継手管（GX形管）を含む工事の主任技術者（監理）又は現場代理人のいずれかの者に、配水管技能者を当てなければならない。

なお、配水管技能者とは下記 表－1 の資格を有する者とする。

表－1 対象工事と資格

配置対象工事	配水管技能者の資格	登録等の区分
500mm未満のダクタイル鋳鉄管耐震継手管（GX形管）を含む工事	公益社団法人日本水道協会の配水管技能者登録	「耐震登録」又は「耐震継手」
	一般社団法人日本ダクタイル鋳鉄管協会の継手接合研修会の受講証を有する者	「耐小」（耐震管φ450以下）

※配水管工技能講習会（公益社団法人日本水道協会主催）受講修了者に交付される登録証の有効期限は発行日から5年間。有効期限を迎える登録証は更新手続きが必要。

2. 水道配水用ポリエチレン管（PEP，HPPE）を含む工事の主任技術者（監理）又は現場代理人のいずれかの者に、配水管技能者を当てなければならない。

なお、配水管技能者とは下記 表－2 の資格を有する者とする。

表－2 対象工事と資格

配置対象工事	配水管技能者の資格	登録等の区分
水道配水用ポリエチレン管を含む工事	配水用ポリエチレンパイプシステム協会の配管施工講習会（配水管用）の受講修了者又は旧団体（「水道用ポリエチレンパイプシステム研究会」「配水用ポリエチレン管協会」）の施工講習会の受講修了者。また、これと同等のメーカー（積水化学工業株、㈱クボタシーアイ）が実施する講習会を受講し、受講証を取得した者	

3. 配水管から分岐し、給水装置工事を施工する場合は、水道法施行規則第 36 条に基づき、給水装置工事主任技術者及び技能者を適正に配置すること。

工事設計書

				課長		課長補佐		主任・係長		審査者		検算		設計者	
--	--	--	--	----	--	------	--	-------	--	-----	--	----	--	-----	--

工事名称 配水管布設工事 第5号	
工事費総額 ¥- (内訳) 工事価格 ¥- 消費税 ¥-	
発注者名 矢板市上下水道事務所水道課 工 期 工事場所 矢板市東泉地内 場所名称	共通仮設費補正： 一般交通等の影響あり② *1.2 現場管理費補正(工事場所)： 一般交通等の影響あり② *1.1 一般管理費補正(契約保証)： 金銭的保証を必要 +0.04%
工事概要 当初設計	変更設計

総括情報表

事務所名 設計書区分/番号 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 設計書名	008 矢板 (09 栃木県) 2025-07-10		
	当世代		前世代
前払率 工事種類 工種区分 施工地域・工事場所区分 現場環境改善費補正 一般管理費補正(契約保証) 緊急工事区分による補正 豪雪補正	補正なし 水道工事(水道実務必携基準) 開削工事及び小口径推進工事等 一般交通等の影響あり② 金銭的保証を必要 補正なし		

本工事内訳書

頁0003

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配水管	1	式			
配水管布設工事	1	式			
配水管布設工（資材費）DIP φ 150	1	式			
GX形直管 φ 150×5m 1種内面粉体	12	本			管：
GX形曲管 45° φ 150	8	個			管：
GX形曲管 22° 1/2 φ 150	4	個			管：
GX形両受曲管 45° φ 150	2	個			管：
GX形両受曲管 22° 1/2 φ 150	4	個			管：
GX形継輪 φ 150	3	個			管：

水道課

本工事内訳書

頁0004

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GX形両受短管 φ 150	2	個			管:
接合セット φ 150 コム輪、押輪、T頭B・N共	12	組			管:
GX形G-Link φ 150 コム輪、ボルト・ナット共	22	組			管:
GX形P-Link φ 150 コム輪、ボルト・ナット共	1	組			管:
GX形ライフ φ 150	4	個			管:
耐震型ロックバルブ 鋳鉄管用 呼び径 150×150	3	個			
仕切弁筐 φ 50～φ 200 座台共	3	基			
K形管帽 内面粉体 φ 150 コム輪、ボルト・ナット共	5	個			管:
エアーバッグ DIP φ 150、ストッパーサドル含む	3	個			

本工事内訳書

頁0005

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋設標示シート 幅150mm タブ型	63.5	m			
管明示テープ 幅30mm 長さ20m/個 年号入	52.7	m			
配水管布設工（労務費）DIP φ 150	1	式			
鋳鉄管吊込み据付工（機械力） 呼び径150mm バックホウ クレーン機能付2.9t吊（山積0.45/平積0.35m3）	63.5	m			代価第1号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-53頁
GX形継手接合工 直管 呼び径150mm	12	口			代価第2号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-58頁
GX形継手接合工 異形管 呼び径150mm	12	口			代価第3号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-58頁
GX形継手接合工 異形管（G-Link） 呼び径150mm	22	口			代価第4号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-58頁
GX形継手接合工 P-Linkへの切管部 呼び径150mm	1	口			代価第5号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-58頁
メカニカル継手工 呼び径150mm 特殊押輪使用 割増率15% 離脱防止継手等による割増を行わない 耐震型補強金具使用しない	5	口			代価第6号 【水道事業実務必携（R6）】第一編-第2章-第3節-54頁

本工事内訳書

頁0006

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄管切断工 呼び径150mm エンジンカッター使用 切断のみ	14	口			代価第7号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-91頁
既設管撤去切断工(ダクタイル鋳鉄管(FCD)) エンジンカッター使用 呼び径150mm	8	口			代価第8号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第10節-106頁
不断水連絡工 本管呼び径×取出呼び径 φ150×φ150	3	箇所			代価第9号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-64頁
エアーバック工法 DIP φ150	3	箇所			
ねじ式弁筐設置工 A, B形 1号 底版使用する	3	箇所			代価第10号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第9節-102頁
管明示ソート工(手間のみ)	63.5	m			代価第11号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-66頁
管明示テープ工(手間のみ) 呼び径・寸法 φ150×5000mm 天端明示無	63.5	m			代価第12号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-65頁
通水試験工 試験距離：63.4m	63.5	m			代価第13号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第5章-第1節-129頁
給水管分岐替工(資材費)	1	式			

本工事内訳書

頁0007

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管 1種二層管 φ 13	7.5	m			管:
ポリエチレン管 1種二層管 φ 20	17	m			管:
ポリエチレン管 1種二層管 φ 30	41	m			管:
分水サドル 鋳鉄管用 φ 150×30 密着コア、フィルム共	1	個			市支給品 支管:
ボール式止水栓 φ 20	3	個			管:
ボール式止水栓 φ 30	1	個			管:
止水栓筐(蓋FCD) SSD100 100×450	4	個			
メーターボックス φ 20用 保温	3	個			
メーターユニオン φ 20	6	個			管:

水道課

本工事内訳書

頁0008

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
メーターエيون φ 30	3	個			管:
PP用ソケット(異径) φ 20×13	1	個			管:
PP用ソケット(同径) φ 13	1	個			管:
PP用ソケット(同径) φ 20	4	個			管:
メーターハ`ルブ`伸縮 φ 13	1	個			管:
メーターハ`ルブ`伸縮 φ 20	2	個			管:
伸縮可撓離脱防止継手 P13×V13	1	個			管:
PP用チ-ス` (異径) φ 30×20	2	個			管:
PP用エルボ` φ 20	2	個			管:

本工事内訳書

頁0009

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
PP用ソケット(同径) φ 20	1	個			管:
PP用ソケット(異径) φ 30×20	1	個			管:
ロケーショングワイヤー	6.9	m			
給水管分岐替工 (労務費)	1	式			
ポリエチレン管据付工 呼び径13mm	7.5	m			代価第14号 【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第6節-86頁
ポリエチレン管据付工 呼び径20mm	17	m			代価第15号 【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第6節-86頁
ポリエチレン管据付工 呼び径30mm	41	m			代価第16号 【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第6節-86頁
サドル分水栓建込み工 鋳鉄管 配水管呼び径150mm 取り出し径30mm	1	箇所			代価第17号 【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第4節-192頁
コア取付工 呼び径30mm	1	箇所			代価第18号 【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第4節-192頁

本工事内訳書

頁0010

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
止水栓取付け工 PP用 呼び径20mm 止水栓及び筐取付	3	箇所			代価第19号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-193頁
止水栓取付け工 PP用 呼び径30mm 止水栓及び筐取付	1	箇所			代価第20号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-193頁
止水栓取付け工 PP用 呼び径20mm 止水栓のみ取付	1	箇所			代価第21号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-193頁
量水器取付け工(ねじ込み接合) 呼び径13mm 量水器のみ取付け	1	箇所			代価第22号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-194頁
量水器取付け工(ねじ込み接合) 呼び径20mm 筐のみ取付け	1	箇所			代価第23号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-194頁
量水器取付け工(ねじ込み接合) 呼び径20mm 量水器及び筐取付	2	箇所			代価第24号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-194頁
ホリエチレン管継手工 呼び径13mm	1	口			代価第25号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁
ホリエチレン管継手工 呼び径20mm	19	口			代価第26号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁
ホリエチレン管継手工 呼び径30mm	6	口			代価第27号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁

本工事内訳書

頁0011

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ホ リエチレン管継手工 呼び径13mm	2	口			代価第25号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁 離脱防止継手
ホ リエチレン管切断工 呼び径13mm	1	口			代価第28号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁
ホ リエチレン管切断工 呼び径20mm	9	口			代価第29号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁
ホ リエチレン管切断工 呼び径30mm	4	口			代価第30号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁
硬質塩化ビニル管切断工 呼び径13mm	1	口			代価第31号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁
土工	1	式			
土工	1	式			
土工	1	式			
舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -	40	m			施工第1号

本工事内訳書

頁0012

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版直接掘削積込工(ﾊﾞｯｸﾙ)					代価第32号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-167頁
舗装厚0cm超え10cm以下 ﾎﾞｯｸﾙ 山積0.28m3[平積0.2m3]	21	m2			
舗装版切断汚泥運搬費					
2tﾄﾗｯｸ車片道25kmまで	0.1	m3			
舗装版切断汚泥処分費					
汚泥比重 1.20～1.10	0.1	m3			処:
ﾊﾞｯｸﾙ掘削積込工					代価第33号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-161頁
ﾊﾞｯｸﾙ 山積0.28m3[平積0.2m3]	73	m3			
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾙ)					代価第34号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-164頁
ﾊﾞｯｸﾙ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂 クッション用ﾎﾟｽ率:0.26	30	m3			
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾙ)					代価第35号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-164頁
ﾊﾞｯｸﾙ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土	18	m3			
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・ﾊﾞｯｸﾙ)					代価第36号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-164頁
ﾊﾞｯｸﾙ 山積0.28m3[平積0.2m3] 再生ｸﾗｯｼｬｰﾚﾝ RC-40ﾎﾟｽ率:0.26	15	m3			
路盤工(施工幅1.8m未満)					代価第37号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
1層仕上げ 仕上り厚10cm 再生ｸﾗｯｼｬｰﾚﾝ RC-40	2	m2			
路盤工(施工幅1.8m未満)					代価第38号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
1層仕上げ 仕上り厚15cm 再生ｸﾗｯｼｬｰﾚﾝ RC-40	25	m2			

本工事内訳書

頁0013

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路盤工(施工幅1.8m未満) 2層仕上げ 仕上り厚35cm 再生クラッシャーラン RC-40	9	m2			代価第39号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
路盤工(施工幅1.8m未満) 2層仕上げ 仕上り厚20cm 粒度調整碎石 M-40	2	m2			代価第40号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
路盤工(施工幅1.8m未満) 1層仕上げ 仕上り厚15cm 再生クラッシャーラン RC-40	2	m2			代価第38号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
舗装工(人力施工) 歩道 仕上り厚3cm プライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコスラク入り再生密粒度アスコン(13))	10	m2			代価第41号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁
舗装工(人力施工) 車道及び路肩 仕上り厚5cm プライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコスラク入り再生密粒度アスコン(20))	11	m2			代価第42号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬工 ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間あり 9.0km以下 タイ良好	0.9	m3			代価第43号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁
アスファルト廃材処理費	0.9	m3			処:
発生土運搬工 ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし 10.0km以下 タイ良好	55	m3			代価第44号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-175頁
残土受入費 砂利採取場への搬出(整地費用を含む)	55	m3			処:

本工事内訳書

頁0014

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工) 掘削深2.0m以下 たて込み バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]	2.3	m			代価第45号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第2節-47頁
軽量金属製支保材設置 水圧式パイプサポート 1段(2.0m以下)	2.3	m			代価第46号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第2節-50頁
充填工 管閉塞 充填材：エアモルタル	0.64	m3			代価第47号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第3節-190頁
充填設備据付撤去工	1	箇所			代価第48号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第3節-190頁
仮設工	1	式			
仮設工	1	式			
仮設工	1	式			
交通誘導警備員B	1	式			代価第49号 【土木工事標準積算基準書(共通編)(R6)】Ⅱ-5-21-1
【 直接工事費計 】					

本工事内訳書

頁0015

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費率額	1	式			
共通仮設費積上額	1	式			
運搬費	1	式			内訳第1号
【 共通仮設費計 】					
【 純工事費 】					
現場管理費率額	1	式			
【 現場管理費計 】					
【 工事原価 】					
一般管理費率額	1	式			

本工事内訳書

頁0016

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 一般管理費計 】					
【 工事価格 】					
【 消費税等相当額 】					
【 工事費計 】					

施工内訳表

式

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材の運搬 製品長：12m以内 距離：3.9km 冬期割増なし 深夜早朝割増なし 往復	0.5	t			代価第50号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-14頁
仮設材積込・取卸費(鋼矢板, H鋼, 覆工板等) 基地積込～現場～基地取卸	0.5	t			代価第51号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-15頁
【 合計 】	1	式			

鑄鉄管吊込み据付工(機械力)
 呼び径150mm バックホウ クレーン機能付2.9t吊(山積0.45/平積0.35m3)

施工代価表

代価第1号
 頁0018

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-53頁
 10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転費[標準型・クレーン機能付・排対型（1次）] 山積0.45m3[平0.35]2.9t吊		h			
【 合計 】	10	m			
【 単位当り 】	1	m			

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

メカニカル継手工
呼び径150mm 特殊押輪使用 割増率15% 離脱防止継手等による割増を
行わない 耐震型補強金具使用しない

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

鑄鉄管切断工
 呼び径150mm エンジンカッター使用 切断のみ

施工代価表

代価第7号
 頁0024

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-91頁
 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の30%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の30%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

不断水連絡工
本管呼び径×取出呼び径 φ150×φ150

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-64頁 1箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
配管工 割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
不断水穿孔機		日			
諸雑費	1	式			労務費の5%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

施工代価表

【水道事業実務必携 (R6)】 第一編-第2章-第9節-102頁 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-66頁

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

管明示テープ 工(手間のみ)
呼び径・寸法 φ150×5000mm 天端明示無

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-65頁 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

通水試験工
試験距離：63.4m

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第5章-第1節-129頁 63.4 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工					
給水車：不要		日			
【 合計 】	63.4	m			
【 単位当り 】	1	m			

ポリエチレン管据付工
呼び径13mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁 10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
【 合計 】	10	m			
【 単位当り 】	1	m			

ポリエチレン管据付工
呼び径20mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁 10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
【 合計 】	10	m			
【 単位当り 】	1	m			

ポリエチレン管据付工
呼び径30mm

施工代価表

代価第16号 頁0033

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁 10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
【 合計 】	10	m			
【 単位当り 】	1	m			

ホトル分水栓建込み工
铸铁管 配水管呼び径150mm 取り出し径30mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-192頁 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の13%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

コ取付工
呼び径30mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第4節-192頁 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-193頁 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

量水器取付け工(ねじ込み接合)
呼び径13mm 量水器のみ取付け

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第4節-194頁 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

量水器取付け工(ねじ込み接合)
呼び径20mm 筐のみ取付け

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第4節-194頁 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

量水器取付け工(ねじ込み接合)
呼び径20mm 量水器及び筐取付

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第4節-194頁 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

ポリエチレン管継手工
呼び径13mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

ポリエチレン管継手工
呼び径20mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

ポリエチレン管継手工
呼び径30mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

ポリエチレン管切断工
呼び径13mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

ポリエチレン管切断工
呼び径20mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

ポリエチレン管切断工
呼び径30mm

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁 1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

舗装版直接掘削積込工(バックホ)
舗装厚0cm超え10cm以下 バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-167頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

バックホウ掘削積込工
バックホウ 山積0.28m3〔平積0.2m3〕

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 山積0.28m3〔平積0.2m3〕		h			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

管路埋戻・締め工(機械埋戻・バックホ)
バックホ 山積0.28m3〔平積0.2m3〕 砂 クッション用ロス率：0.26

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-164頁 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クソバ 締め
バックホ運転 山積0.28m3〔平積0.2m3〕		h			投入
クソバ 運転		日			クソバ 締め
砂 クッション用	126	m3			ロス率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

管路埋戻・締めめ工(機械埋戻・バックホ)
バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-164頁 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クハ 締めめ
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			投入
クハ 運転		日			クハ 締めめ
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

管路埋戻・締め工(機械埋戻・バックホ)
バックホ 山積0.28m3〔平積0.2m3〕 再生クラッシャーラン RC-40ロス率：0.26

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-164頁 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クハ 締め
バックホ運転 山積0.28m3〔平積0.2m3〕		h			投入
クハ 運転		日			クハ 締め
再生クラッシャーラン RC-40	126	m3			ロス率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

路盤工(施工幅1.8m未満)
1層仕上げ 仕上り厚10cm 再生クランチャーラン RC-40

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-170頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
再生クランチャーラン RC-40	12.7	m3			100*(10/100)*(1+0.27)
クランパ 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

路盤工(施工幅1.8m未満)
1層仕上げ 仕上り厚15cm 再生クランチャーラン RC-40

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-170頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
再生クランチャーラン RC-40	19.05	m3			100*(15/100)*(1+0.27)
クランパ 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

路盤工(施工幅1.8m未満)
2層仕上げ 仕上り厚35cm 再生クランチャーラン RC-40

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-170頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
再生クランチャーラン RC-40	44.45	m3			100*(35/100)*(1+0.27)
クランパ 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

路盤工(施工幅1.8m未満)
2層仕上げ 仕上り厚20cm 粒度調整碎石 M-40

施工代価表

代価第40号 頁0057

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-170頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
粒度調整碎石 M-40	25.4	m3			100*(20/100)*(1+0.27)
クワ 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

舗装工(人力施工)
歩道 仕上り厚3cm フォライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコスラック入り再生密粒度アスコン(13))

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-179頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
アスファルト混合物 エコスラック入り再生密粒度アスコン(13)	7.26	t			100*(3/100)*2.2*(1+0.1)
アスファルト乳剤 PK-3 フォライムコート用	126	L			
振動ローラ運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
砂散布費	1	式			(労+機)の3%
諸雑費	1	式			(労+機)の19%を上限とする

舗装工(人力施工)
歩道 仕上り厚3cm フライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13))

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
アスファルト混合物 エコスラ [®] 入り再生密粒度アスコン(20)	12.573	t			100*(5/100)*2.35*(1+0.07)
アスファルト乳剤 PK-3 フライムコート用	126	L			
振動ロー [®] 運転		日			
振動コンパ [®] クタ [®] 運転		日			
砂散布費	1	式			(労+機)の3%
諸雑費	1	式			(労+機)の17%を上限とする

舗装工(人力施工)
車道及び路肩 仕上り厚5cm フライムコート 砂散布あり アスファルト混合物(エコラ
グ入り再生密粒度アスコン(20))

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-179頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬工
タンポトラック4t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間あり 9.0km以
下 タイヤ良好

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-179頁 10 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
タンポ トラック運転		日			
【 合計 】	10	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

発生土運搬工
ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.28m3〔平積0.20m3〕 DID区間なし
10.0km以下 タイヤ良好

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転		日			
【 合計 】	10	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)
掘削深2.0m以下 たて込み バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバ
ックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

代価第45号 頁0064

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第2節-47頁 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			たて込み
バックホウ運転 バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			引抜き
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量金属製支保材設置
水圧式パイプシート 1段 (2.0m以下)

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第2節-50頁 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

充填工
管閉塞 充填材：エアモルタル

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第3節-190頁 10 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
充填材	10	m3			
クワトロポンプ〔二筒複動ピストン式〕 吐出量200L/min		日			令和6年度版建設機械等損料表05-41
クワトロミキサ〔並列2槽式〕 攪拌容量300L×2槽槽		日			令和6年度版建設機械等損料表05-43
発動発電機運転		日			
諸雑費	1	式			機械損料の15%を上限とする
【 合計 】	10	m3			

充填工
管閉塞 充填材：エアモルタル

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第3節-190頁 10 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 単位当り 】	1	m3			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第3節-190頁

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
クレーン装置付トラック運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

施工代価表

【土木工事標準積算基準書(共通編)(R6)】Ⅱ-5-21-1

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員B		人			
【 合計 】	1	式			
【 単位当り 】	1	式			

仮設材の運搬
製品長：12m以内 距離：3.9km 冬期割増なし 深夜早朝割増なし 往復

施工代価表

代価第50号 頁0070

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-14頁 1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃	2	t			
【 合計 】	1	t			
【 単位当り 】	1	t			

仮設材積込・取卸費(鋼矢板, H鋼, 覆工板等)
基地積込～現場～基地取卸

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-15頁 1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼材積込費					
基地積込	1	t			
鋼材取卸費					
場内取卸	1	t			
鋼材積込費					
場内積込	1	t			
鋼材取卸費					
基地取卸	1	t			
【 合計 】	1	t			
【 単位当り 】	1	t			

舗装版切断
アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

施工パッケージ

積算単位：m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	6.05			
K1 東京	コンクリートカッタ[ハキューム式・湿式] 切削深20cm級プレート径φ56cm	4.09			令和6年度版建設機械等損料表11-9
R 東京	労務	55.5			
R1 東京	特殊作業員	19.28			
R2 東京	土木一般世話役	9.9			
R3 東京	普通作業員	8.33			
Z 東京	材料	38.45			
Z1 東京	プレート（コンクリートカッタ）径22インチ	35.21			
Z2 東京	ガソリン レギュラー スタンド	2.19			

舗装版切断
アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

施工パッケージ

積算単位：m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：008 矢板（09 栃木県）／2025-07-10）				
	標準単価				

公表単価一覧表

工事名：配水管布設工事 第5号

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
耐震形メカ挿口付不断水割T字管	φ150×φ150	個	521,800			○	
不断水連絡工穿孔機損料	管種DIPφ150、穿孔径φ150	日	3,910	○			
仕切弁筐	φ50～φ200 座台共	個	133,000			○	
鑄鉄管用K形管帽	内面粉体 φ150 ゴム輪、ボルト・ナット共	個	54,000			○	
エアーバッグ	DIPφ150用 ストッパーサドル(φ150×50用)を含む	個	193,000			○	
管明示テープ 1巻	幅30mm 長さ20m/個 年号入	m	110			○	
エアーバッグ工法	工事費、平日昼間作業 穿孔費(φ50/バルーン挿入用、φ25止水確認用)を含む	箇所	200,000	○	○		
分水サドル	鑄鉄管用 φ150×30 密着コア、フィルム共	個	63,900			○	市支給品
ボール式止水栓	φ20	個	10,600			○	
ボール式止水栓	φ30	個	31,900			○	
止水栓筐(蓋FCD)	SSD100 100×450	個	5,960			○	
メーターボックス	φ20用 保温	個	17,800			○	
メーターバルブ伸縮	φ13	個	13,200			○	
メーターバルブ伸縮	φ20	個	19,300			○	
伸縮可撓離脱防止継手	P13×V13	個	2,100			○	
ロケーティングワイヤー	100m=1巻	m	350			○	
充填工 充填材	エアモルタル、高炉セメントB種	m3	29,300			○	

(備考)

1 本表に記載されている単価は、見積り及び特別調査により決定したものである。

2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。

「機」：機械器具等の損料または賃料

「労」：労務費

「材」：材料費

令和7年度		設計 の 理由	工 期	施工方法	
番号					

当 初 設 計 書

配水管布設工事 第 5 号

矢板市 東泉 地内

工 事 概 要

工事延長 L= 63.53 m

- DIP (GX) 管布設工 φ 150mm
- 給水分岐替工
- 土工

L= 63.53 m
1 式
1 式

市 長
副 市 長
課 長
設 計 者

配水管布設工事 第 5 号 明 細 書							
工 種	種 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費							
	運搬費		式	1			
	運搬費	(積み上げ)	式	1			
	準備費		式	1			
	仮設費	(積み上げ)	式	1			
	技術管理費		式	1			
	営繕損料		式	1			
	労務者輸送費		式	1			
	安全費		式	1			
	環境対策費		式	1			
	共通仮設費計						

配水管布設工（資材費） DIP (GX) φ150 mm							内 記 書		(第 1 号)	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考				
直管	GX形 φ150×5.0m (1種内面粉体)	本	12							
曲管	GX形 φ150×45°	個	8							
曲管	GX形 φ150×22 1/2°	個	4							
両受曲管	GX形 φ150×45°	個	2							
両受曲管	GX形 φ150×22 1/2°	個	4							
継輪	GX形 φ150	個	3							
両受短管	GX形 φ150	個	2							
押輪	GX形 φ150	組	12							
G-Link	GX形 φ150	組	22							
P-Link	GX形 φ150	組	1							
ライナ	GX形 φ150	組	4							
耐震形メカ挿口付不断水割 T 字管	DIP用 φ150×φ150	個	3							
仕切弁筐	φ150 ねじ式弁筐	基	3							

配水管布設工 (労務費) DIP (GX) $\phi 150$ mm (第 2 号)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
ダクタイル鋳鉄管布設工	機械力 $\phi 150$ 直管	m	63.5			
GX形継手接合工	$\phi 150$ 異形管	口	12			
GX形継手接合工	$\phi 150$ 異形管 (G-Link)	口	12			
GX形継手接合工	$\phi 150$ 異形管 (P-Link)	口	22			
GX形継手接合工	$\phi 150$ 管栓帽設置	口	1			
メカニカル継手接合工	$\phi 150$	口	5			
鋳鉄管切断工	切断のみ (新設管) $\phi 150$	口	14			
鋳鉄管切断工	切断のみ (既設管) $\phi 150$	口	8			
不排水連絡工	$\phi 150 \times \phi 150$ DIP管	箇所	3			
エアバッグ工 (穿孔費含む)	$\phi 150$ mm	箇所	3			
仕切弁篋 (不排水割 T 字管)	$\phi 150$ ねじ式弁篋	基	3			
管明示テープ工	$\phi 150$	m	63.5			
管理設シート工	W=150mm	m	63.5			

給水管分岐替工（資材費）												内 訳 書		(第 3 号)	
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	備	考		
ポリエチレン管		1種二層管 φ13		m		7.5									
ポリエチレン管		1種二層管 φ20		m		17.0									
ポリエチレン管		1種二層管 φ30		m		41.0									
サドル分水栓		鑄鉄用 φ150×30（密着J7・フィルム共）		個		1						市支給品			
止水栓		φ20		個		3									
止水栓		φ30		個		1									
止水栓筐		(蓋のみ鑄物製)		個		4									
量水器筐		(樹脂製)		組		3									
分・止水栓継手		φ20		個		6									
分・止水栓継手		φ30		個		3									
メーターソケット		φ13×φ20P		個		1									
メーターソケット		φ13		個		1									
メーターソケット		φ20		個		4									

給水管分岐替工（労務費）

内 訳 書

(第 4 号)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管布設工	φ13	m	7.5			
ポリエチレン管布設工	φ20	m	17.0			
ポリエチレン管布設工	φ30	m	41.0			
サドル分水栓取付工	鑄鉄用 φ150×φ30	箇所	1			
コア取付工	φ30	箇所	1			
乙止水栓設置工	φ20（筐設置）	箇所	3			
乙止水栓設置工	φ30（筐設置）	箇所	1			
丙止水栓設置工	メータ・ハルブ φ13	箇所	1			
丙止水栓設置工	メータ・ハルブ φ20	箇所	2			
量水器設置工	φ20	箇所	3			
ポリエチレン管継手工	φ13	口	1			
ポリエチレン管継手工	φ20	口	19			
ポリエチレン管継手工	φ30	口	6			

土 工

内 訳 書

(第 5 号)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
舗装版切断工	AS版 切断深 15cm以下	m	40			
舗装版直接掘削・積込み	AS版 舗装厚 15cm以下	m ²	21			
舗装切断汚泥運搬費	L=13.6km	m ³	0.1			東武商事株式会社 那須塩原市北赤田1575-8
舗装切断汚泥処分費		m ³	0.1			
機械掘削	0.28m ³ 礫質土	m ³	73			
埋戻工	人力 山砂	m ³	30			
埋戻工	0.28m ³ 投入、タンパ 発生土	m ³	18			
埋戻工	0.28m ³ 投入、タンパ RC-40	m ³	15			
路盤工	t=10cm タンパ RC-40	m ²	2			
路盤工	t=15cm タンパ RC-40	m ²	25			
路盤工	t=35cm タンパ RC-40	m ²	9			
上層路盤工	t=20cm タンパ RC-40	m ²	2			
凍上抑制層	t=15cm タンパ RC-40	m ²	2			

令和 7 年度

配水管布設工事 第 5 号

矢板市 東泉 地内

当 初

数 量 計 算 書

令 和 7 年 8 月

矢板市上下水道事務所

1. DIP (GX) 管布設工 ϕ 150mm 計算書

勞 務 費 集 計 表

[illegible]

配 管 材 料 集 計 表

名 称	形状・寸法	単位	数 量	単位長	延 長	備 考
1. DIP(GX)管布設工φ150mm						
GX 形 直 管	φ 150 × 5.00	本	Σ = 12 6	5.00	30.00	
GX 形 切 管	φ 150	本 m	6 23.64	1.00	23.64	
GX 形 二 受 T 字 管	φ 150 × 150	個		0.15 0.56		
GX 形 二 受 T 字 管	φ 150 × 100	個		0.14 0.48		
GX 形 曲 管	φ 150 × 45°	個	8	0.47	3.76	
GX 形 曲 管	φ 150 × 22 1/2°	個	4	0.41	1.64	
GX 形 曲 管	φ 150 × 11 1/4°	個		0.37		
GX 形 両 受 曲 管	φ 150 × 45°	個	2	0.20	0.40	
GX 形 両 受 曲 管	φ 150 × 22 1/2°	個	4	0.14	0.56	
(浅 層 埋 設 形) GX形フランジ付T字管	φ 150 × 75	個		0.53		
GX 形 継 輪	φ 150	個	3	0.24	0.72	
GX 形 両 受 短 管	φ 150	個	2	0.02	0.04	
GX 形 押 輪	φ 150	個	12			
P-Link	φ 150	組	1	0.21	0.21	
G-Link	φ 150	組	22			
GX 形 ラ イ ナ	φ 150	組	4	0.04	0.16	
GX形受挿ソフトシール仕切弁	φ 150	基		0.55		
GX形両受ソフトシール仕切弁	φ 150	基		0.22		
不 断 水 割 T 字 管	φ 150 × φ150	個	3	0.80	2.40	
仕 切 弁 筐	φ 150	基	3			
K 形 管 栓 帽	φ 150	個	5			
エ ア バ ッ グ	φ 150	個	3			
ス ト ッ パ ー サ ド ル	φ 150 (鑄鉄管用)	個	3			
埋 設 シ ー ト		m	63.5			
明 示 テ ー プ		m	Σ L / 5×4×0.22×π×1.5 52.7			
総 延 長 (Σ L)					63.53	
布 設 延 長 (L)					63.53 - 0 63.53	

切管延長調書

DIP(GX) φ 150 mm (l= 5.00 m/本)					
No.	甲 切 管	乙 切 管		延 長	残管延長 切断口数
1	0.86		3.33	4.19	0.81 2
2	0.86	1.36	2.78	5.00	2
3	2.51	1.17	1.00	4.68	0.32 3
4	3.07		1.00	4.07	0.93 2
5	1.61			1.61	3.39 1
6	1.09	1.00	1.00	1.00	4.09 0.91 4
計	m 10.00	m 13.64		m 23.64	m 6.36 口 14

2. 給水管布設工計算書

4. 給水管分岐替工（材料費集計表）

	単位	1 連合管	1 二戸	2 二戸	3 兼松	4	5	6	7	合計
既設給水管管種・口径	mm	PP φ 25	VP φ 13	PP φ 20	PP φ 20					
配水管口径	mm	φ 150								
取出し給水管口径	mm	φ 30	φ 20	φ 20	φ 20					
配 管 長	m	41.00	12.00	4.50	8.00					65.50
使用材料										
ホ [°] ポリエチレン管 φ 13	m		7.50							7.50
ホ [°] ポリエチレン管 φ 20	m		4.50	4.50	8.00					17.00
ホ [°] ポリエチレン管 φ 25	m									
ホ [°] ポリエチレン管 φ 30	m	41.00								41.00
ホ [°] ポリエチレン管 φ 40	m									
ホ [°] ポリエチレン管 φ 50	m									
サ [°] ル分水栓(铸铁管用) φ 150×φ 30	個	1								1
乙止水栓 φ 20	個		1	1	1					3
乙止水栓 φ 25	個									
乙止水栓 φ 30	個	1								1
止水栓筐 (蓋のみ铸件)	組	1	1	1	1					4
止水栓筐 (蓋・枠铸件)	組									
止水栓筐 (ハット筐)	組									
量水器筐 (樹脂製)	組		1	1	1					3
量水器筐 (蓋・枠铸件)	組									
分・止水栓継手 φ 13	個									
分・止水栓継手 φ 20	個		2	2	2					6
分・止水栓継手 φ 25	個									
分・止水栓継手 φ 30	個	3								3
分・止水栓継手 φ 20×13P	個									
メーターソケット φ 13×φ 20P	個		1							1
メーターソケット φ 13	個		1							1
メーターソケット φ 20	個			2	2					4
メーターソケット φ 25	個									
メーターソケット φ 30	個									
メーターハ [°] ルフ [°] (丙止水栓) φ 13	個		1							1
メーターハ [°] ルフ [°] (丙止水栓) φ 20	個			1	1					2
メーターハ [°] ルフ [°] (丙止水栓) φ 25	個									
メーターハ [°] ルフ [°] (丙止水栓) φ 30	個									
離脱防止付継手 φ 13	個									
離脱防止付継手 φ 20	個									
離脱防止付継手 φ 25	個									
離脱防止付継手 φ 30	個									
離脱防止付 異径継手 φ 20×φ 13	個									
離脱防止付 異径継手 φ 25×φ 20	個									
離脱防止付 異種管継手 φ 13(PP×VP)	個		1							1
離脱防止付 異種管継手 φ 20(PP×VP)	個									
離脱防止付 異種管継手 φ 25(PP×VP)	個									
PPチーヌ [°] φ 13	個									
PPチーヌ [°] φ 30×φ 20	個	2								2
PPチーヌ [°] φ 25×φ 20	個									
PPエルボ φ 13	個									
PPエルボ φ 20	個				2					2
PPエルボ φ 25	個									
PPソケット φ 13	個									
PPソケット φ 20	個				1					1
PPソケット φ 25	個									
PPソケット φ 30×φ 20	個	1								1
PPソケット φ 30×φ 25	個									
TSキャップ φ 13	個									
TSキャップ φ 20	個									
ロケ [°] ティングワイヤー	m	6.90								6.90

4. 給水管分岐替工 (労務費集計表)

		単位	1 連合管	2 二戸	3 二戸	4 兼松	5	6	7	8	合計
既設給水管管種・口径		mm	PP φ 25	VP φ 13	PP φ 20	PP φ 20					
配水管口径		mm	φ 150								
取出し給水管口径		mm	φ 30	φ 20	φ 20	φ 20					
配 管 長		m	41.00	12.00	4.50	4.50					62.00
土工	県道	m									
	市道	m	4.40								4.40
	歩道	m	2.50								2.50
	宅内 (As)	m									
	宅内 (Co)	m									
	宅内 (Gr)	m									
宅内 (発生土)		m	34.10	12.00	4.50	8.00					58.60
労務費											
ホ ^レ チレン管布設工 φ 13		m		7.50							7.50
ホ ^レ チレン管布設工 φ 20		m		4.50	4.50	8.00					17.00
ホ ^レ チレン管布設工 φ 25		m									
ホ ^レ チレン管布設工 φ 30		m	41.00								41.00
サ ^ト ル分水栓取付工(鉄鉄用) φ 150 × φ 30		箇所	1								1
コ ⁷ 取付工 φ 20		箇所									
コ ⁷ 取付工 φ 25		箇所									
コ ⁷ 取付工 φ 30		箇所	1								1
乙止水栓設置工 φ 20		箇所		1	1	1					3
乙止水栓設置工 φ 25		箇所									
乙止水栓設置工 φ 30		箇所	1								1
丙止水栓設置工 φ 13		箇所		1							1
丙止水栓設置工 φ 20		箇所			1	1					2
丙止水栓設置工 φ 25		箇所									
量水器設置工 φ 13		箇所									
量水器設置工 φ 20		箇所		1	1	1					3
量水器設置工 φ 25		箇所									
ホ ^レ チレン管継手工 φ 13		口		1							1
ホ ^レ チレン管継手工 φ 20		口		4	5	10					19
ホ ^レ チレン管継手工 φ 25		口									
ホ ^レ チレン管継手工 φ 30		口	6								6
ホ ^レ チレン管離脱防止継手工 φ 13		口		1							1
ホ ^レ チレン管離脱防止継手工 φ 20		口									
ホ ^レ チレン管離脱防止継手工 φ 25		口									
塩化ビ ^ニ ル管継手工 (TS接手) φ 13		口									
塩化ビ ^ニ ル管継手工 (TS接手) φ 20		口									
塩化ビ ^ニ ル管継手工 (TS接手) φ 25		口									
塩化ビ ^ニ ル管離脱防止継手工 φ 13		口		1							1
塩化ビ ^ニ ル管離脱防止継手工 φ 20		口									
塩化ビ ^ニ ル管離脱防止継手工 φ 25		口									
ホ ^レ チレン管切断工 φ 13		口		1							1
ホ ^レ チレン管切断工 φ 20		口		2	2	5					9
ホ ^レ チレン管切断工 φ 25		口									
ホ ^レ チレン管切断工 φ 30		口	4								4
塩化ビ ^ニ ル管切断工 φ 13		口		1							1
塩化ビ ^ニ ル管切断工 φ 20		口									
塩化ビ ^ニ ル管切断工 φ 25		口									
ねじ込み継手工 φ 13		口									
ねじ込み継手工 φ 20		口									
ねじ込み継手工 φ 25		口									
ねじ込み継手工 φ 30		口									

3. 土工計算書

3. 土工集計表

名 称	形状寸法	3. 土工集計表 (φ 150-1)	3. 土工集計表 (φ 150-2)	3. 土工集計表 (給水土工)				単位	数量計
舗装版切断	t=15cm以下 As版	23.44	8.00	8.80				m	40.24
	t=15cmを越え30cm以下 As版							m	
	t=15cm以下 Co版							m	
舗装版直接 掘削積込	t=15cm以下 As版 ハックホリ山積0.28m3	15.79	2.40	2.64				m ²	20.83
	t=15cm以下 Co版 ハックホリ山積0.28m3							m ²	
舗装版破碎	t=17cm As版 ハックホリ山積0.28m3							m ²	
舗装切断 汚泥運搬費		0.05	0.02	0.01				m3	0.08
舗装切断 汚泥処分費		0.05	0.02	0.01				m3	0.08
機械床掘	機械掘削積込 ハックホリ山積0.28m3	43.43	3.16	26.10				m3	72.69
埋 戻 工	山砂 タンバ転圧	16.29	1.04	12.97				m3	30.30
	発生土 タンバ転圧	5.48	0.60	12.20				m3	18.28
	再生骨材 (RC-40) タンバ転圧	13.99	0.60					m3	14.59
	切込碎石 (C-40) タンバ転圧							m3	
								m3	
路床置換層	有効層 (RC-100) t=30cm							m ²	
	無効層 (RC-100) t=20cm							m ²	
路 盤 工	t=10cm RC-40	2.28						m ²	2.28
	t=15cm RC-40	24.06	1.20					m ²	25.26
	t=20cm RC-40							m ²	
	t=35cm RC-40	5.54	1.20	2.64				m ²	9.38
上層路盤工	t=20cm RC-40	0.75	1.20					m ²	1.95
凍上抑制層	t=15cm RC-40	2.28						m ²	2.28
表 層 工	t=3cm 再密 (13)-50 1.4m≤施工幅	9.50						m ²	9.50
	t=5cm 再密 (20)-50 1.4m>施工幅	6.29	2.40	2.64				m ²	11.33
	t=5cm 再密 (20)-50 1.4m≤施工幅							m ²	
	t=5cm 再粗 (20)-50 1.4m>施工幅							m ²	
中間層工	t=5cm 再粗 (20)-50 1.4m>施工幅							m ²	
基層工	t=5cm 再粗 (20)-50 1.4m>施工幅							m ²	
As安定処理	t=10cm As安定 1.4m>施工幅							m ²	
残 土	アスコン 2tダンプ	0.61	0.12	0.13				m3	0.86
	コンクリート 2tダンプ							m3	
	発生土 2tダンプ	38.33	2.56	13.90				m3	54.79
								m3	
廃材処理	アスコン	0.61	0.12	0.13				m3	0.86
	コンクリート							m3	
コンクリート打設								m3	
区画線工	白 W=15cm (実線)							m	
	黄 W=15cm (実線)							m	
	白文字 15cm換算							m	
土留工	軽量鋼矢板 矢板長=2.0m	2.26						m	2.26

3. 土工集計表 (φ150-1)

L=62.92m

名 称	形状寸法	①歩道部 (施工済み) DP0.70m L=3.80m W=0.60m	②歩道部 (未施工) DP0.70m L=9.80m W=0.60m	③計画車道部 DP1.20m L=38.85m W=0.60m	④現道車道部 DP1.10m L=1.25m W=0.60m	⑤-1現道車道部 DP1.10m L=6.96m W=0.60m	⑤-2現道車道部 DP1.50m L=2.26m W=0.60m	単位	数量計
舗装版切断	t=15cm以下 As版	2.50			2.50	13.92	4.52	m	23.44
	t=15cmを越え30cm以下 As版							m	
	t=15cm以下 Co版							m	
舗装版直接掘削積込	t=15cm以下 As版 ハックホリ山積0.28m3	9.50			0.75	4.18	1.36	m ²	15.79
	t=15cm以下 Co版 ハックホリ山積0.28m3							m ²	
舗装版破砕	t=17cm As版 ハックホリ山積0.28m3							m ²	
舗装切断汚泥運搬費		0.01			0.01	0.02	0.01	m3	0.05
舗装切断汚泥処分費		0.01			0.01	0.02	0.01	m3	0.05
機械床堀	機械掘削積込 ハックホリ山積0.28m3	2.14	4.05	28.41	0.99	5.51	2.33	m3	43.43
埋戻工	山砂 タシバ転圧	0.98	2.54	10.06	0.32	1.80	0.59	m3	16.29
	発生土 タシバ転圧	0.50	1.29		0.38	2.09	1.22	m3	5.48
	再生骨材 (RC-40) タシバ転圧			13.99				m3	13.99
	切込砕石 (C-40) タシバ転圧							m3	
								m3	
路床置換層	有効層 (RC-100)							m3	
	無効層 (RC-100)							m3	
路盤工	t=10cm RC-40	2.28						m ²	2.28
	t=15cm RC-40			23.31	0.75			m ²	24.06
	t=20cm RC-40							m ²	
	t=35cm RC-40					4.18	1.36	m ²	5.54
上層路盤工	t=20cm RC-40				0.75			m ²	0.75
凍上抑制層	t=15cm RC-40	2.28						m ²	2.28
表層工	t=3cm 再密 (13)-50 1.4m>施工幅	9.50						m ²	9.50
	t=5cm 再密 (20)-50 1.4m>施工幅				0.75	4.18	1.36	m ²	6.29
	t=5cm 再密 (20)-50 1.4m≤施工幅							m ²	
中間層工	t=5cm 再粗 (20)-50 1.4m>施工幅							m ²	
基層工	t=5cm 再粗 (20)-50 1.4m>施工幅							m ²	
As安定処理	t=10cm As安定 1.4m>施工幅							m ²	
残土	アスコン 2tダンプ	0.29			0.04	0.21	0.07	m3	0.61
	コンクリート 2tダンプ							m3	
	発生土 2tダンプ	1.64	2.76	28.41	0.99	3.42	1.11	m3	38.33
廃材処理	アスコン	0.29			0.04	0.21	0.07	m3	0.61
	コンクリート							m3	
コンクリート打設								m3	
区画線工	白 W=15cm (実線)							m	
	黄 W=15cm (実線)							m	
	白文字 15cm換算 (止)							m	
土留工	軽鋼矢板 矢板長=2.0m						2.26	m	2.26

3. 土工集計表 (φ150-2)

L=62.92m

名 称	形状寸法	⑥エアバッグ工・エアモルタル工 DP1.10m 2箇所	⑦エアバッグ工 DP1.10m 2箇所					単位	数量計
舗装版切断	t=15cm以下 As版	4.00	4.00					m	8.00
	t=15cmを越え30cm以下 As版							m	
	t=20cm以下 Co版							m	
舗装版直接掘削積込	t=15cm以下 As版 ハックホリ山積0.28m3	1.20	1.20					m ²	2.40
	t=15cm以下 Co版 ハックホリ山積0.28m3							m ²	
舗装版破碎	t=17cm As版 ハックホリ山積0.28m3							m ²	
舗装切断汚泥運搬費		0.01	0.01					m3	0.02
舗装切断汚泥処分費		0.01	0.01					m3	0.02
機械床掘	機械掘削積込 ハックホリ山積0.28m3	1.58	1.58					m3	3.16
埋 戻 工	山砂 タンバ転圧	0.52	0.52					m3	1.04
	発生土 タンバ転圧		0.60					m3	0.60
	再生骨材 (RC-40) タンバ転圧	0.60						m3	0.60
	切込碎石 (C-40) タンバ転圧							m3	
								m3	
路床置換層	有効層 (RC-100)							m3	
	無効層 (RC-100)							m3	
路 盤 工	t=10cm RC-40							m ²	
	t=15cm RC-40	1.20						m ²	1.20
	t=20cm RC-40							m ²	
	t=35cm RC-40		1.20					m ²	1.20
上層路盤工	t=20cm RC-40	1.20						m ²	1.20
凍上抑制層	t=15cm RC-40							m ²	
表 層 工	t=3cm 再密 (13)-50 1.4m>施工幅							m ²	
	t=5cm 再密 (20)-50 1.4m>施工幅	1.20	1.20					m ²	2.40
	t=5cm 再密 (20)-50 1.4m≤施工幅							m ²	
中間層工	t=5cm 再粗 (20)-50 1.4m>施工幅							m ²	
基層工	t=5cm 再粗 (20)-50 1.4m>施工幅							m ²	
As安定処理	t=10cm As安定 1.4m>施工幅							m ²	
残 土	アスコン 2tダンプ	0.06	0.06					m3	0.12
	コンクリート 2tダンプ							m3	
	発生土 2tダンプ	1.58	0.98					m3	2.56
廃材処理	アスコン	0.06	0.06					m3	0.12
	コンクリート							m3	
コンクリート打設								m3	
区画線工	白 W=15cm (実線)							m	
	黄 W=15cm (実線)							m	
	白文字 15cm換算 (止)							m	
土留工	軽量鋼矢板 矢板長=2.0m							m	

3. 土工集計表（給水土工）

名 称	形状寸法	①車道部 (給水) DP1. 10m L=4. 40m W=0. 60m	②歩道部 (給水) DP0. 70m L=2. 50m W=0. 60m	③宅内発生 (土) (給水) DP0. 50m L=58. 60m W=0. 60m				単位	数量計
舗装版切断	t=15cm以下 As版	8. 80						m	8. 80
	t=15cmを越え30cm以下 As版							m	
	t=15cm以下 Co版							m	
舗装版直接 掘削積込	t=3cm As版 バックホウ山積0. 28m3							m ²	
	t=5cm As版 バックホウ山積0. 28m3	2. 64						m ²	2. 64
	t=10cm Co版 バックホウ山積0. 28m3							m ²	
舗装版破碎	t=17cm As版(積込有) バックホウ山積0. 28m3							m ²	
舗装切断 汚泥運搬費		0. 01						m3	0. 01
舗装切断 汚泥処分費		0. 01						m3	0. 01
機械床堀	機械掘削積込 バックホウ山積0. 28m3	3. 12	0. 83	22. 15				m3	26. 10
埋 戻 工	山砂 タンバ 転圧	0. 87	0. 50	11. 60				m3	12. 97
	発生土 タンバ 転圧	1. 32	0. 33	10. 55				m3	12. 20
	再生骨材 (RC-40) タンバ 転圧							m3	
	切込碎石 (C-40) タンバ 転圧							m3	
								m3	
下層路盤工	t=10cm RC-40							m ²	
	t=15cm RC-40							m ²	
	t=20cm RC-40							m ²	
	t=35cm RC-40	2. 64						m ²	2. 64
上層路盤工	t=20cm M-40							m ²	
凍上抑制層	t=15cm RC-40							m ²	
表 層 工	t=3cm 再密(13)-50 1. 4m>施工幅							m ²	
	t=5cm 再密(20)-50 1. 4m>施工幅	2. 64						m ²	2. 64
	t=5cm 再密(20)-50 1. 4m≤施工幅							m ²	
中間層工	t=5cm 再粗(20)-50 1. 4m>施工幅							m ²	
基層工	t=5cm 再粗(20)-50 1. 4m>施工幅							m ²	
As安定処理	t=10cm As安定 1. 4m>施工幅							m ²	
残 土	アスコン 2tダンプ	0. 13						m3	0. 13
	コンクリート 2tダンプ							m3	
	発生土 2tダンプ	1. 80	0. 50	11. 60				m3	13. 90
廃材処理	アスコン	0. 13						m3	0. 13
	コンクリート							m3	
コンクリート打設								m3	
区画線工	白 W=15cm							m	
	白 W=30cm (破線)							m	
	白 W=45cm (停止線)							m	
	白文字 15cm換算 (止)							m	
	白文字 15cm換算 (ま)							m	

				数 量
①歩道部（施工済み） DP0.70m DIP (GX) φ150mm 掘 削 復 旧				延長 = 3.80 m 土被り = 0.70 m 口径 φ150 0.169 m 掘削幅 A= 0.600 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 2.500 現況厚 a= 0.030 仮復旧厚 a'= 0.030 本復旧厚 a= 路盤工 b1= 0.100 凍上抑制工b2= 0.150 発生土埋戻d= 0.220 山砂埋戻 e= 0.469 掘削深 H= 0.969
計算式				
床掘り 掘削積込 機械	A	H	a	延長
	0.600	× (0.969 - 0.030)	×	3.80
	D			
舗装切断 t=3cm	2.500			
舗装切断汚泥運搬費	D			
	0.023	× 0.030	×	2.500
舗装切断汚泥処分費				
舗装版直接掘削積込 t=3cm	D	延長		
	2.500	× 3.80		
埋戻 山砂	A	e	管口径 2	延長
	{ 0.600	× 0.469 - (π/4 × 0.169)	×	3.80
埋戻 発生土	A	d	延長	
	0.600	× 0.220	×	3.80
路盤工 RC-40 t=10cm	A	延長		
	0.600	× 3.80		
凍上抑制工 RC-40 t=15cm	A	延長		
	0.600	× 3.80		
残土アスコン	D	a	延長	
	2.500	× 0.030	×	3.80
残土発生土	掘削	埋戻		
	2.14	- 0.50		
本復旧 表層(再生密粒) (13)-50 t=3cm	D	延長		
	2.500	× 3.80		
区画線 白 W=15cm (実線)				m
黄 W=15cm (実線)				m
黄 W=30cm (破線)				m
白 W=45cm (実線)				m
白文字 15cm換算 (止)				m
土留め工 H=2.0m以下				m

			数 量
②歩道部（未施工） DP0.70m DIP (GX) φ150mm			延長 = 9.80 m 土被り = 0.70 m 口径 φ150 0.169 m 仮復旧幅 A= 0.600 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 現況厚 a= 仮復旧厚 a'= 本復旧厚 a= 路盤工 b1= 凍上抑制工b2= 発生土埋戻d= 0.220 山砂埋戻 e= 0.469 掘削深 H= 0.689
計算式			
床掘り 掘削積込 機械	$A \times H - a \times \text{延長}$	$0.600 \times (0.689 -) \times 9.80$	4.05 m ³
舗装切断 t=15cm以下	$\times \text{延長}$		m
舗装切断汚泥運搬費	$\times \times$		m ³
舗装切断汚泥処分費			m ³
舗装版直接掘削積込 t=15cm以下	$A \times \text{延長}$		m ²
埋戻 山砂	$A \times e - \left(\frac{\pi}{4} \times \text{管口径}^2 \times \text{延長} \right)$	$\{ 0.600 \times 0.469 - (\pi/4 \times 0.169) \} \times 9.80$	2.54 m ³
埋戻 発生土	$A \times d \times \text{延長}$	$0.600 \times 0.220 \times 9.80$	1.29 m ³
路盤工 RC-40 t=10cm	$A \times \text{延長}$		m ²
凍上抑制工 RC-40 t=15cm	$A \times \text{延長}$		m ²
残土アスコン	$A \times a \times \text{延長}$		m ³
残土発生土	$\text{掘削} - \text{埋戻}$	$4.05 - 1.29$	2.76 m ³
仮復旧 表層(再生密粒) (13)-50 t=3cm	$A \times \text{延長}$		m ²
区画線 白 W=15cm (実線)			m
黄 W=15cm (実線)			m
黄 W=30cm (破線)			m
白 W=45cm (実線)			m
白文字 15cm換算 (止)			m

				数 量
③計画車道部 DP1. 20m DIP (GX) φ 150mm 掘削 復旧 掘削幅 600 復旧幅 600 下層路盤工: 再生砕石 (RC-40) t=15cm 1469 250 150 150 400 150 500 1469 469 300 埋戻し RC-40 埋戻し 山砂 埋戻し M-40 機城掘削 ▽施工基面 掘削深 H=1219 (施工基面より) 土被り H=1200 (施工基面より) DIP φ 150 (GX) 掘削幅 600				延長 = 38.85 m 土被り = 1.20 m 口径 φ 150 0.169 m 仮復旧幅 A= 0.600 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 現況厚 a= 仮復旧厚 a'= 本復旧厚 a= 上層路盤工b1= 下層路盤工b2= 0.150 発生土埋戻d= 0.600 山砂埋戻 e= 0.469 掘削深 H= 1.219
計算式				
床掘り 掘削積込 機械	A	H	a	延長
	0.60	× (1.219 -)	×	38.85
				28.41 m
舗装切断 t=15cm以下		延長	×	m
舗装切断汚泥運搬費		×	×	m
舗装切断汚泥処分費				m
舗装版直接掘削積込 t=15cm以下	A	延長	×	m
埋戻 山砂	A	e	管口径 2	延長
	{ 0.60	× 0.469 - (π/4 × 0.169)	×	38.85
				10.06 m
埋戻 RC-40	A	d	延長	
	0.600	× 0.600	×	38.85
				13.99 m
上層路盤工 M-40 t=15cm	A	延長	×	m
下層路盤工 RC-40 t=15cm	A	延長	×	m
	0.600	× 38.85		23.31 m
残土アスコン	A	a	延長	
	×	×		m
残土発生土	掘削	埋戻		
	28.41 -			28.41 m
仮復旧 表層(再生密粒) (20)-50 t=5cm	A	延長		m
区画線 白 W=15cm (実線)				m
黄 W=15cm (実線)				m
黄 W=30cm (破線)				m
白 W=45cm (実線)				m
白文字 15cm換算 (止)				m

				数 量
④現道車道部 DP1. 10m DIP (GX) φ150mm				延長 = 1.25 m 土被り = 0.95 m 口径 φ150 0.169 m 仮復旧幅 A= 0.600 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 現況厚 a= 0.050 仮復旧厚 a'= 0.050 本復旧厚 a= 上層路盤工b1= 0.200 下層路盤工b2= 0.150 発生土埋戻d= 0.500 山砂埋戻 e= 0.469 掘削深 H= 1.369
計算式				
床掘り 掘削積込 機械	A	H	a 延長	3
	0.600	1.369	0.050 1.25	0.99 m
舗装切断 t=15cm以下	2	延長		2.50 m
舗装切断汚泥運搬費	0.023	0.050	2.50	0.01 m
舗装切断汚泥処分費				0.01 m
舗装版直接掘削積込 t=15cm以下	A	延長		0.75 m
埋戻 山砂	{ 0.600	e 管口径 2 延長		0.32 m
埋戻 発生土	A	d 延長		0.38 m
上層路盤工 RC-40 t=20cm	A	延長		0.75 m
下層路盤工 RC-40 t=15cm	A	延長		0.75 m
残土アスコン	A	a 延長		0.04 m
残土発生土	掘削 0.99	埋戻		0.99 m
仮復旧 表層(再生密粒) (20)-50 t=5cm	A	延長		0.75 m
区画線 白 W=15cm (実線)				m
黄 W=15cm (実線)				m
黄 W=30cm (破線)				m
白 W=45cm (実線)				m
白文字 15cm換算 (止)				m

				数 量	
⑤-1現道車道部 DP1.10m DIP(GX) φ150mm 掘削 復旧 復旧幅 600 表層工: コース1'入再生密粒度As(20)-50 t= 5cm 下層路盤工: 再生碎石 (RC-40) t=35cm 掘削深 H=1369 機械掘削 発生土 埋戻シート 山砂 300 土被り H=1100 50 350 400 500 469 1369 DIPφ150(GX) 掘削幅 600				延長 = 6.96 m	
				土被り = 1.10 m	
				口径 φ150 0.169 m	
				仮復旧幅 A= 0.600	
				影響幅 B=	
				影響幅 C=	
				本復旧幅 D=	
				現況厚 a= 0.050	
				仮復旧厚 a' = 0.050	
				本復旧厚 a=	
				上層路盤工b1=	
				下層路盤工b2= 0.350	
				発生土埋戻d= 0.500	
				山砂埋戻 e= 0.469	
				掘削深 H= 1.369	
計算式					
床掘り 掘削積込 機械	A	H	a	延長	
	0.600	×	(1.369 - 0.050)	×	6.96
	延長				
舗装切断 t=5cm	2	×	6.96		
舗装切断汚泥運搬費	0.023	×	0.050	×	13.92
舗装切断汚泥処分費					
	0.02 m				
舗装版直接掘削 t=5cm	A	延長			
	0.600	×	6.96		
埋戻 山砂	A	e	管口径 2	延長	
	{ 0.600	×	0.469 - (π/4 × 0.169)	×	6.96
	1.80 m				
埋戻 発生土	A	d	延長		
	0.600	×	0.500	×	6.96
	2.09 m				
上層路盤工 M-40 t= cm	A	延長			
	×				
下層路盤工 RC-40 t=35cm	A	延長			
	0.600	×	6.96		
	4.18 m				
残土アスコン	A	a	延長		
	0.600	×	0.050	×	6.96
	0.21 m				
残土発生土	掘削	埋戻			
	5.51	-	2.09		
	3.42 m				
仮復旧 表層(再生密粒) (20)-50 t=5cm	A	延長			
	0.600	×	6.96		
	4.18 m				
区画線 白 W=15cm (実線)					
	m				
黄 W=15cm (実線)					
	m				
黄 W=30cm (破線)					
	m				
白 W=45cm (実線)					
	m				
白文字 15cm換算 (止)					
	m				

掘削 復旧			数 量
⑤-2現道車道部 DP1.50m DIP(GX)φ150mm			延長 = 2.26 m 土被り = 1.50 m 口径 φ150 0.169 m 仮復旧幅 A= 0.600 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 現況厚 a= 0.050 仮復旧厚 a'= 0.050 本復旧厚 a= 上層路盤工b1= 下層路盤工b2= 0.350 発生土埋戻d= 0.900 山砂埋戻 e= 0.469 掘削深 H= 1.769
計算式			
床掘り 掘削積込 機械	$A \times H - a \times \text{延長}$	$0.600 \times (1.769 - 0.050) \times 2.26$	2.33 m ³
舗装切断 t=5cm	$2 \times \text{延長}$	2×2.26	4.52 m
舗装切断汚泥運搬費	$0.023 \times 0.050 \times 4.52$		0.01 m ³
舗装切断汚泥処分費			0.01 m ³
舗装版直接掘削 t=5cm	$A \times \text{延長}$	0.600×2.26	1.36 m ²
埋戻 山砂	$\left\{ \frac{A}{e} \times 0.469 - \left(\frac{\pi}{4} \times \text{管口径}^2 \right) \right\} \times \text{延長}$	$\left\{ \frac{0.600}{0.469} \times 0.469 - \left(\frac{\pi}{4} \times 0.169^2 \right) \right\} \times 2.26$	0.59 m ³
埋戻 発生土	$\frac{A}{d} \times \text{延長}$	$\frac{0.600}{0.900} \times 2.26$	1.22 m ³
上層路盤工 M-40 t= cm	$A \times \text{延長}$	0.600×2.26	m ²
下層路盤工 RC-40 t=35cm	$A \times \text{延長}$	0.600×2.26	1.36 m ²
残土アスコン	$A \times a \times \text{延長}$	$0.600 \times 0.050 \times 2.26$	0.07 m ³
残土発生土 (20)-50	$\text{掘削} - \text{埋戻}$	$2.33 - 1.22$	1.11 m ³
仮復旧 表層(再生密粒) t=5cm	$A \times \text{延長}$	0.600×2.26	1.36 m ²
土留工 H2.0m以下	延長	2.26	2.26 m
区画線 白 W=15cm (実線)			m
黄 W=15cm (実線)			m
黄 W=30cm (破線)			m
白 W=45cm (実線)			m
白文字 15cm換算 (止)			m

			数 量
⑥エアバッグ工・エアモルタル工 DP1. 10m 2箇所 掘 削 復 旧			延長 = 1.00 m 土被り = 1.10 m 口径 φ150 0.169 m 仮復旧幅 A= 0.600 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 現況厚 a= 0.050 仮復旧厚 a'= 0.050 本復旧厚 a= 上層路盤工b1= 0.200 下層路盤工b2= 0.150 発生土埋戻d= 0.500 山砂埋戻 e= 0.469 掘削深 H= 1.369
計算式			
床掘り 掘削積込 機械	$\frac{A}{0.600} \times \frac{H}{1.369 - 0.050} \times \frac{a}{1.00} \times \text{延長} \times 2$		3 1.58 m
舗装切断 t=5cm	$\frac{\text{延長}}{2} \times \frac{\text{箇所数}}{1.00} \times 2$		4.00 m
舗装切断汚泥運搬費	0.023 × 0.050 × 4.00		3 0.01 m
舗装切断汚泥処分費			3 0.01 m
舗装版直接掘削積込 t=5cm	$\frac{A}{0.600} \times \frac{\text{延長}}{1.00} \times 2$		2 1.20 m
埋戻 山砂	$\frac{A}{0.600} \times \frac{e}{0.469 - (\pi/4 \times 0.169^2)} \times \frac{\text{管口径}^2}{1.00} \times \frac{\text{延長}}{1.00} \times 2$		3 0.52 m
埋戻 RC-40	$\frac{A}{0.600} \times \frac{d}{0.500 \times 1.00} \times \frac{\text{延長}}{1.00} \times 2$		3 0.60 m
上層路盤工 RC-40 t=20cm	$\frac{A}{0.600} \times \frac{\text{延長}}{1.00} \times \frac{\text{箇所数}}{2} \times 2$		2 1.20 m
下層路盤工 RC-40 t=15cm	$\frac{A}{0.600} \times \frac{\text{延長}}{1.00} \times \frac{\text{箇所数}}{2} \times 2$		2 1.20 m
残土7スコン	$\frac{A}{0.600} \times \frac{a}{0.050} \times \frac{\text{延長}}{1.00} \times \frac{\text{箇所数}}{2} \times 2$		3 0.06 m
残土発生土	掘削 埋戻 1.58 -		3 1.58 m
仮復旧 表層(再生密粒) (20)-50 t=5cm	$\frac{A}{0.600} \times \frac{\text{延長}}{1.00} \times \frac{\text{箇所数}}{2} \times 2$		2 1.20 m
区画線 白 W=15cm (実線)			m
黄 W=15cm (実線)			m
黄 W=30cm (破線)			m
白 W=45cm (実線)			m
白文字 15cm換算 (止)			m

				数 量
⑦エアバッグ工 DP1. 10m 2 箇所 掘 削 復 旧				延長 = 1.00 m 土被り = 1.10 m 口径 $\phi 150$ 0.169 m 仮復旧幅 A= 0.600 影響幅 B= 影響幅 C= 本復旧幅 D= 現況厚 a= 0.050 仮復旧厚 a'= 0.050 本復旧厚 a= 路盤工 b1= 0.350 凍上抑制工 b2= 発生土埋戻 d= 0.500 山砂埋戻 e= 0.469 掘削深 H= 1.369
計算式				
床掘り 掘削積込 機械	A	H	a 延長	³
	(0.600 × (1.369 - 0.050) × 1.00) × 2			1.58 m
舗装切断 t=5cm	延長	箇所数		³
	(2 × 1.00) × 2			4.00 m
舗装切断汚泥運搬費	0.023 × 0.050 × 4.00			³ 0.01 m
舗装切断汚泥処分費				³ 0.01 m
舗装版直接掘削積込 t=5cm	A	延長	箇所数	²
	(0.600 × 1.00) × 2			1.20 m
埋戻 山砂	A	e	管口径 2 延長	³
	{ 0.600 × 0.469 - ($\pi/4 \times 0.169$) } × 1.00 × 2			0.52 m
埋戻 発生土	A	d	延長	³
	(0.600 × 0.500 × 1.00) × 2			0.60 m
路盤工 RC-40 t=35cm	A	延長	箇所数	²
	(0.600 × 1.00) × 2			1.20 m
凍上抑制工 RC-40 t=15cm	A	延長		² m
	×			
残土アスコン	A	a	延長 箇所数	³
	(0.600 × 0.050 × 1.00) × 2			0.06 m
残土発生土	掘削	埋戻		³
	1.58 - 0.60			0.98 m
仮復旧 表層(再生密粒) (20)-50 t=5cm	A	延長	箇所数	²
	(0.600 × 1.00) × 2			1.20 m
区画線 白 W=15cm (実線)				m
黄 W=15cm (実線)				m
黄 W=30cm (破線)				m
白 W=45cm (実線)				m
白文字 15cm換算 (止)				m

4. 運搬工（仮設材運搬）計算書

軽量鋼矢板土留使用数量

①H=2.0m L=2.26m

軽量鋼矢板 2.26 ÷ 0.25 = 9.0 = 10 枚使用(片側)
 :
 腹起し : 2.26 ÷ 4.00 = 0.6 = 1 本使用(片側)
 切り梁 : 1 × 2 = 2 本使用(腹起し1本に2本使用)

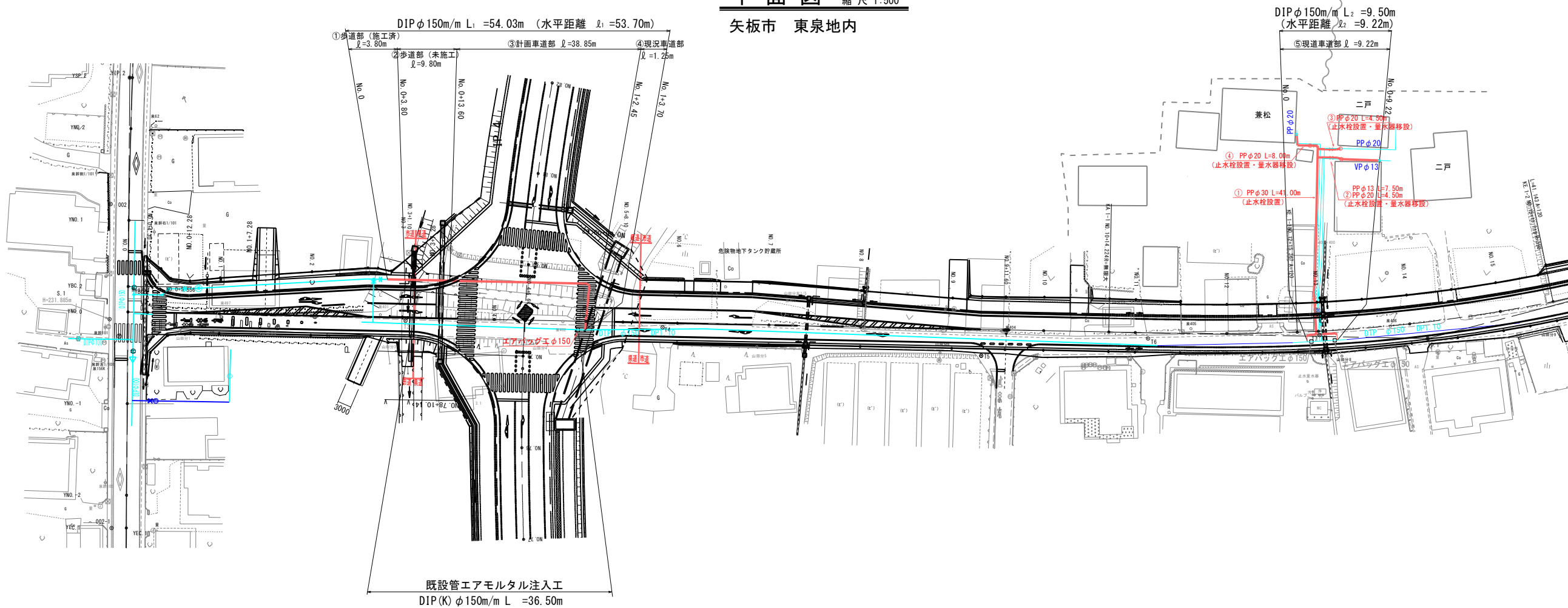
軽量鋼矢板土留使用重量

①H=2.0m L=2.26m

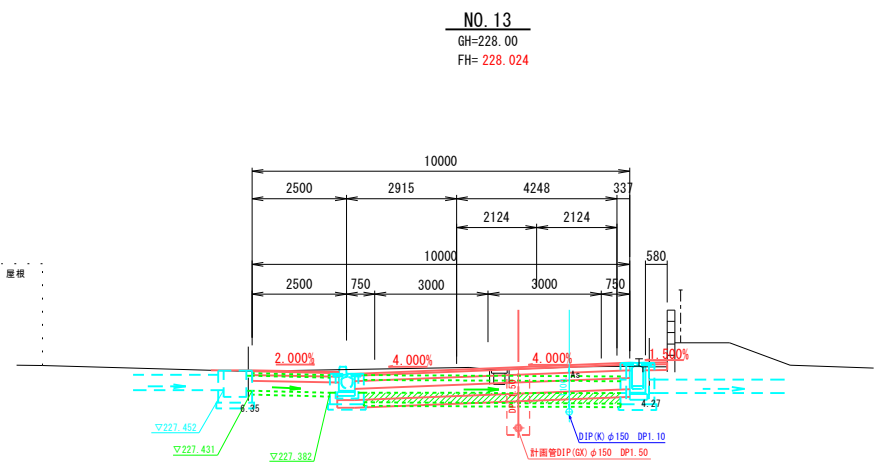
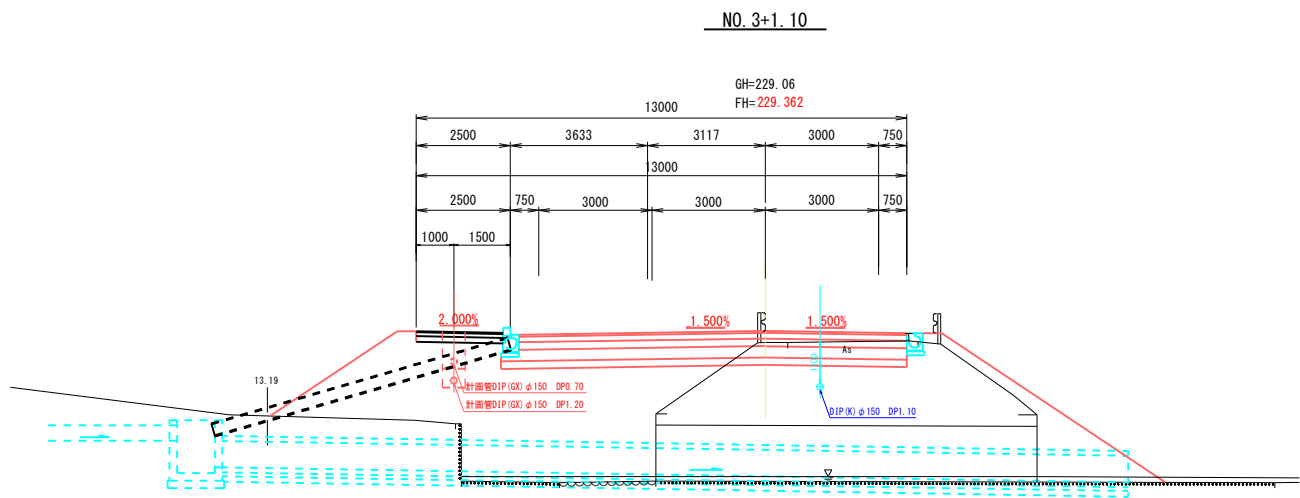
	使用数量	高さ	単位重量	
軽量鋼矢板	10 × 2	× 2.0	× 10.4	= 416.0 kg
:				
腹起し	: 1 × 2		× 38.6	= 77.2 kg
切り梁	: 2		× 3.2	= 6.4 kg
合計				499.6 kg

平面図 縮尺 1:500

矢板市 東泉地内



横断図 S=1:100



案内図

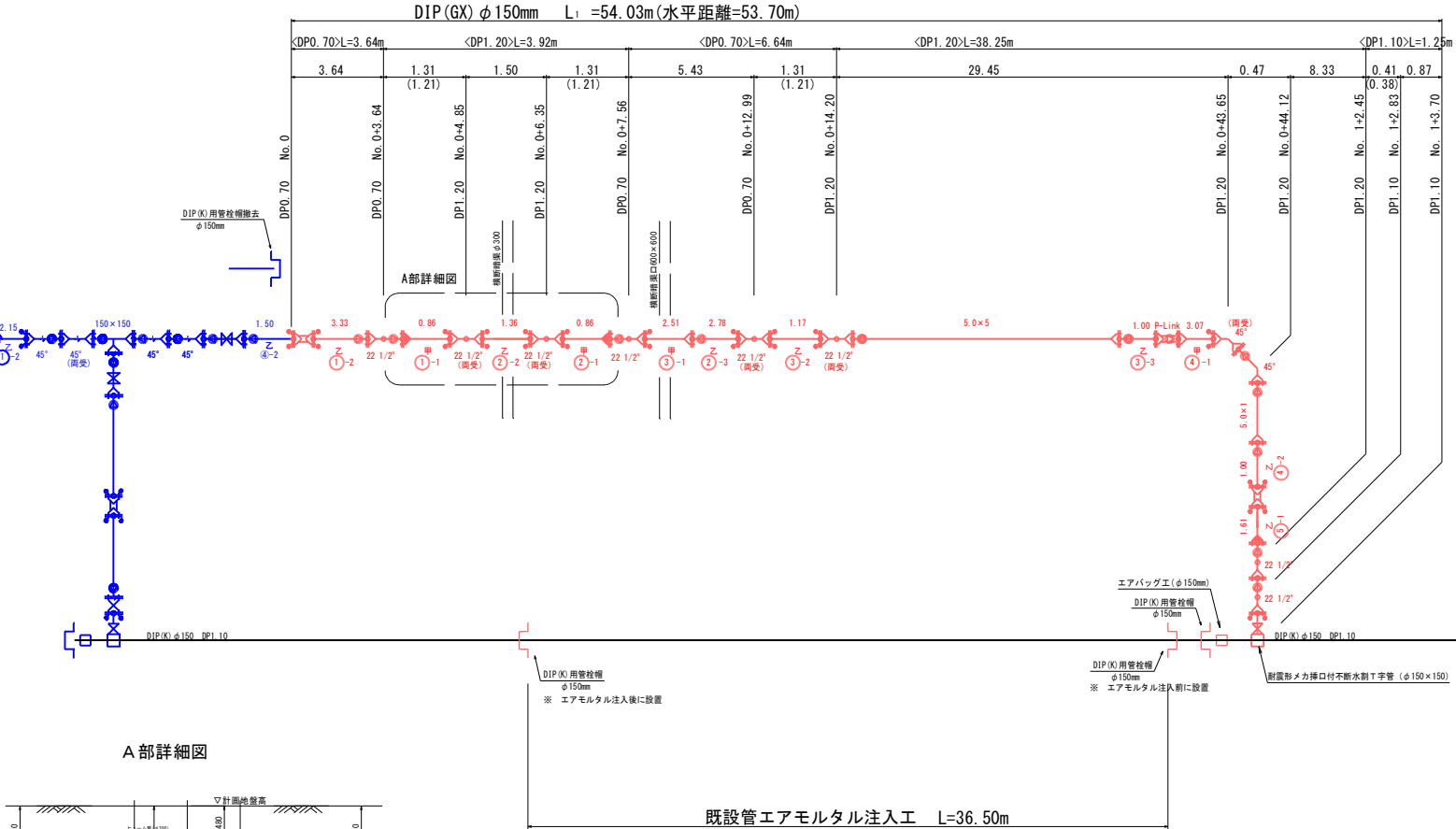
S=1:5,000



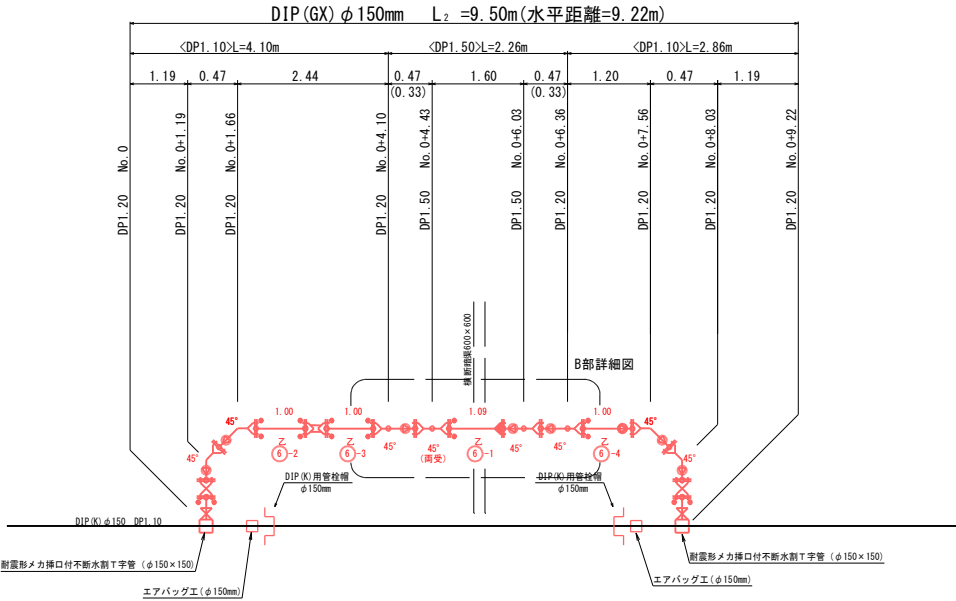
実施

発注者	矢板市役所				
工事名	配水管布設工事 第 5 号				
図面	平面図・横断図				
工事箇所	矢板市 東泉 地内				
縮尺	図示	設計年月日	図番	1 / 3	
検印	照査	設計	製図		

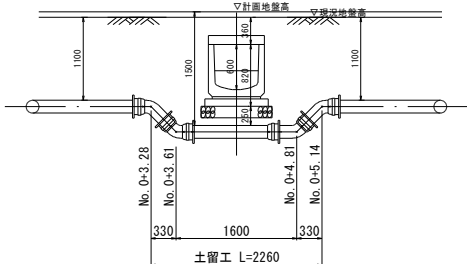
配管詳細図 S=Free



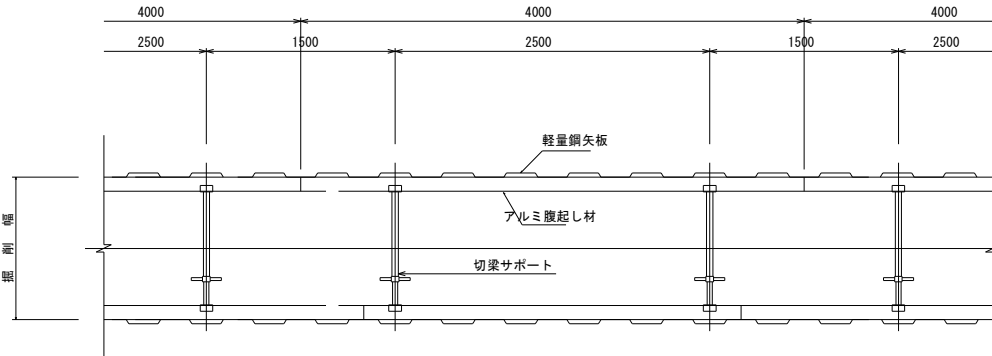
土留工標準図 S=1:30
(軽量矢板土留)



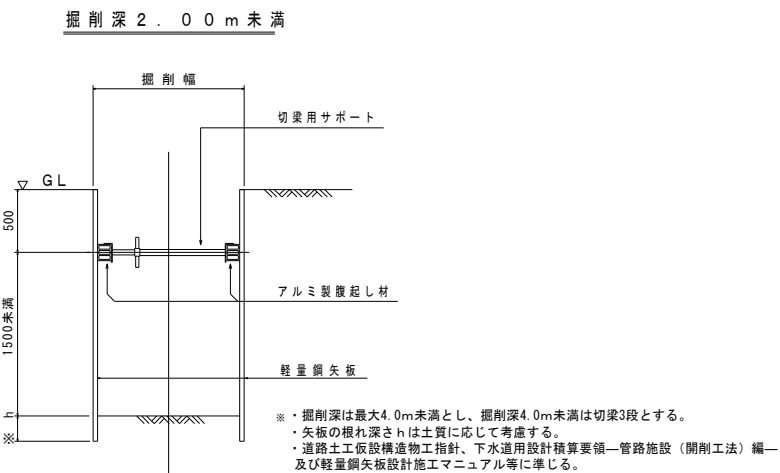
B 部詳細



平面图



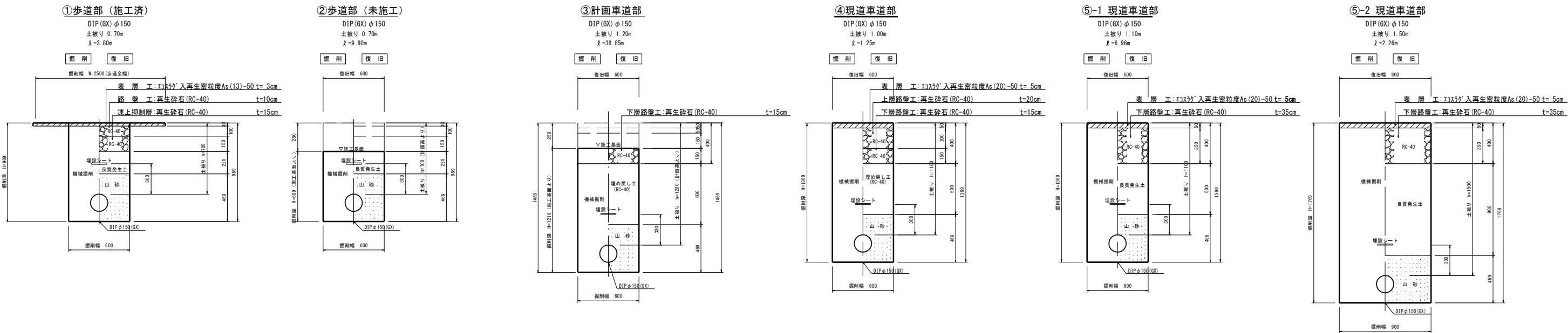
断面図



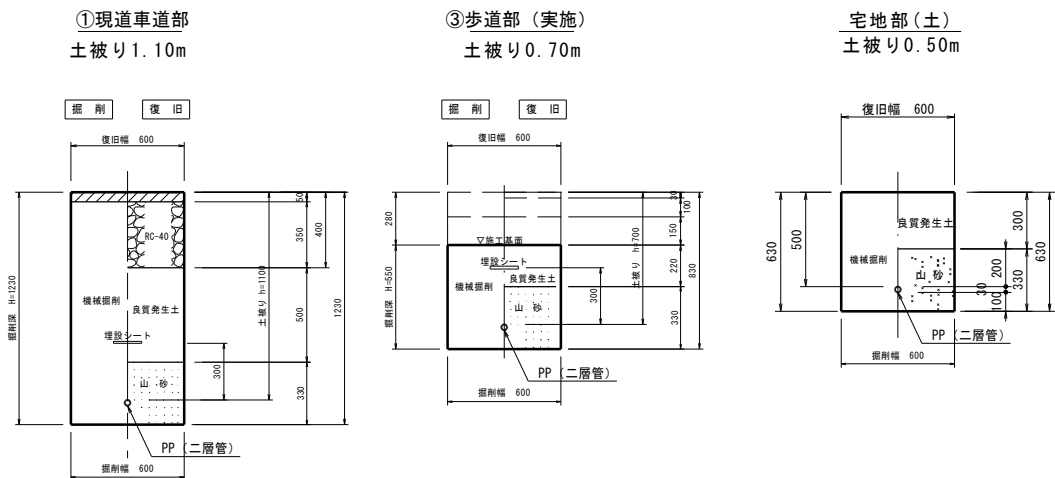
实施

発注者	矢板市役所				
工事名	配水管布設工事 第 5 号				
図面	配管詳細図・土留工標準図				
工事箇所	矢板市 東泉 地内				
縮尺	図示	設計年月日	図番	2 / 3	
捺印	照	設	製		

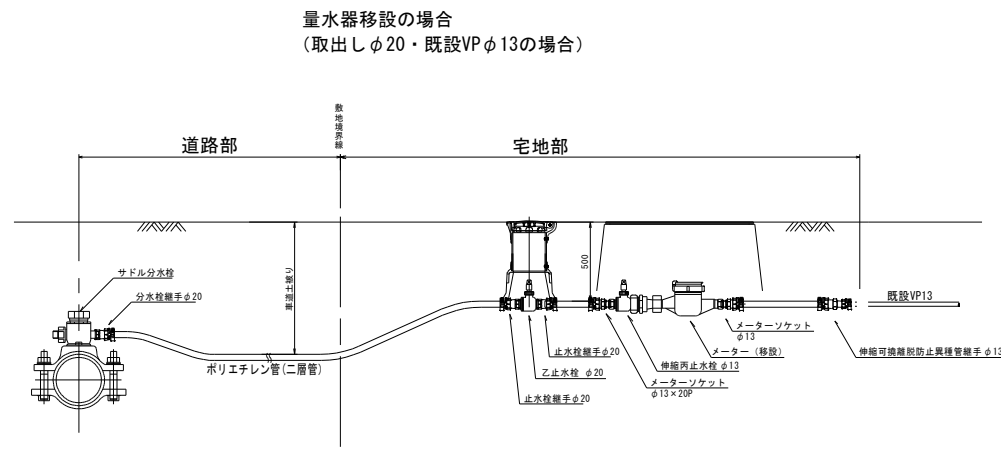
標準土工定規図 S=1:20



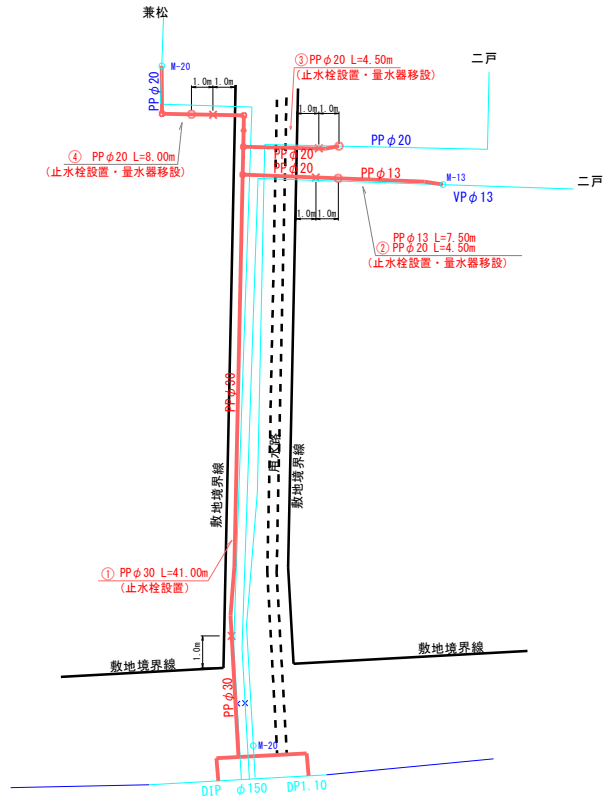
給水管標準土工定規図 S=1:20



給水管標準設置図 S=Free



給水配管詳細図 S=Free



実施

発注者	矢板市役所				
工事名	配水管布設工事 第 5 号				
図面	標準土工定規図・給水管標準土工定規図 給水配管詳細図・給水管標準設置図				
工事箇所	矢板市 東泉 地内				
縮尺	図示	設計年月日	図番	3 / 3	
検印	照査	設計	製図		